2008年度　大学院生の研究活動記録

行動学系	在籍者	回答者	研究成果	成果有の人数(%)
	61名	49名	有　41名	84%
	回答者率	80%	無　8名	

注

1.先端人間科学講座所属生は、指導教員の関連学系に含める。
2. 研究生も含める。
3. 記載の仕方は院生の提出したものによる。
4. 論文の審査有無は、自己申告による。

1

指導教員	苧阪　満里子	副指導教員	森川　和則		
氏名	木下　侑里子	研究分野名	基礎心理学	学年	MC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	言語性ワーキングメモリと訓練の関係―抑制機能の観点から―	木下侑里子・苧阪満里子	2008年11月9日	関西心理学会第120回大会	
学会発表	指示忘却による訓練がワーキングメモリに及ぼす影響	木下侑里子・苧阪満里子	2009年3月7日	第6回日本ワーキングメモリ学会大会	

2

指導教員	苧阪　満里子	副指導教員	森川　和則		
氏名	遠藤　香織	研究分野名	基礎心理学	学年	MC　1　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	ワーキングメモリとスタイルシフト	遠藤香織・苧阪満里子	2008年11月9日	第120回関西心理学会大会発表論文集　45-45.	

3

指導教員	苧阪　満里子	副指導教員	森川　和則		
氏名	森　数馬	研究分野名	基礎心理学	学年	MC　1　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	演奏音の印象に及ぼす歌詞の影響について	森数馬・中村敏江・安田晶子・正田悠	2008年6月1日	日本認知心理学会第6回大会発表論文集 100.	
学会発表	演奏音の印象に及ぼす歌詞の影響について　ー印象評定値の個人差に基づく検討ー	森数馬・中村敏江・安田晶子・正田悠	2008年9月19日	日本心理学会第72回大会発表論文集　1005.	
学会発表	演奏音の印象に及ぼす歌詞の影響について　ー演奏音と歌詞の相乗作用ー	森　数馬	2008年12月7日	日本音楽知覚認知学会平成20年度秋季研究発表会資料　25-28	

4

指導教員	三浦　利章	副指導教員			
氏名	駒田　悠一	研究分野名	適応認知行動学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	模擬道路上での飛び出し検出時の注視特性と注意力の関係	駒田悠一・篠原一光・木村貴彦・三浦利章	2008年11月9日	関西心理学会第120回大会発表論文集 41	
学会発表	運転者特性と運転行動の自己報告の関係	駒田悠一・篠原一光・木村貴彦・三浦利章	2008年6月14日	人間工学 44(特別号),164-165	
学術論文	運転行動の自己報告に基づく運転スタイルの評価	駒田悠一・木村貴彦・篠原一光・三浦利章	2008年3月	大阪大学大学院人間科学研究科紀要 34, 189-214	

＜受賞＞

年月	**受賞者名**	**賞名**	**授与団体**
2009.1	駒田 悠一	関西心理学会 研究奨励賞	関西心理学会

5

指導教員	三浦　利章	副指導教員	篠原　一光		
氏名	宮本　晃希	研究分野名	適応認知行動学	学年	MC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	運動技能と眼球運動―テニスを実験課題として―	宮本晃希・三浦利章・篠原一光・木村貴彦	2008年11月9日	関西心理学会第120回大会発表論文集，40	

6

指導教員	大坊　郁夫	副指導教員	釘原　直樹		
氏名	笠置　遊	研究分野名	対人社会心理学	学年	DC　1　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	The effect of videotape feedback of a dyadic interaction on metaperception.	ISO, Y., KASAGI, Y., & DAIBO, I.	2008年7月23日	Paper presented at the 29th International Congress of Psychology, Berlin, Germany. p.458	○
学会発表	The effect of the multiple audience problem on self-presentation.	KASAGI, Y. & DAIBO, I.	2008年7月24日	Paper presented at the 29th International Congress of Psychology, Berlin, Germany. p.679	○
学会発表	異性への自己呈示における複数観衆問題	笠置遊・大坊郁夫	2008年9月18日	日本心理学会第72回大会発表論文集, 116.	
学会発表	複数観衆問題が自己呈示に及ぼす影響	笠置遊・大坊郁夫	2008年11月3日	日本社会心理学会第49回大会発表論文集, 158-159.	
学会発表	Self-presentation in the multiple audience situation.	KASAGI, Y. & DAIBO, I.	2009年 2月 5日	Paper Presented at the 10th Annual Meeting of the Society for Personality and Social Psychology, Tampa, Florida.	○

＜受賞＞

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2008.5	笠置　遊	平成20年度　国際会議等参加旅費補助金	日本心理学会
2008.6	笠置　遊	平成20年度　大学院生海外発表補助金	日本社会心理学会

7

指導教員	大坊　郁夫	副指導教員	釘原　直樹		
氏名	横山　ひとみ	研究分野名	対人社会心理学	学年	DC　1　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	The role of speech rate and gaze in persuasion	Hitomi Yokoyama & Ikuo Daibo	2008年7月23日	the 29th International Congress of Psychology	○
学会発表	対面場面における説得の規定因の検討―送り手の非言語的行動の特徴および送り手がもたらす印象の効果―	横山ひとみ・大坊郁夫	2008年9月19日	日本心理学会第72回大会発表論文集, 129.	
学会発表	送り手のコミュニケーション特徴が説得効果に及ぼす影響	横山ひとみ・大坊郁夫	2008年11月3日	日本社会心理学会第49回大会発表論文集, 614-615.	
学会発表	The role of social skills in persuasion	Hitomi Yokoyama & Ikuo Daibo	2009年2月7日	the 10th annual meeting of Society for Personality and Social Psychology	○
大学・研究所等報告	説得場面における社会的スキルの役割―音声提示刺激による実験的研究―	横山ひとみ・大坊郁夫	2008年5月12日	電子情報通信学会技術研究報告, 108(26), 1-6.	
大学・研究所等報告	説得場面における社会的スキルの役割(2)―視聴覚提示刺激による実験的研究―	横山ひとみ・大坊郁夫	2008年8月27日	電子情報通信学会技術研究報告, 108(187), 53-56.	

＜受賞＞

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2008.6	横山 ひとみ	平成20年度「大学院生海外学会発表支援制度」	日本社会心理学会

8

指導教員	大坊　郁夫	副指導教員	釘原　直樹		
氏名	浅野　良輔	研究分野名	対人社会心理学	学年	MC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	Break-up of romantic relationships changes sense of coherence: A strategy for stress coping.	浅野良輔・大坊郁夫・堀毛裕子	2008年7月24日	the 29th International Congress of Psychology	○
学会発表	恋愛関係が首尾一貫感覚に及ぼす影響 (1) ―自尊心との比較―	浅野良輔・大坊郁夫	2008年9月12日	日本健康心理学会第21回大会発表論文集 16.	
学会発表	恋愛関係が首尾一貫感覚に及ぼす影響 (2) ―ソーシャル・サポートの個人内・個人間プロセスの観点から―	浅野良輔・大坊郁夫	2008年11月3日	日本社会心理学会第49回大会発表論文集 600-601.	
学会発表	Social support and sense of coherence in romantic relationships.	浅野良輔・大坊郁夫	2009年2月6日	the 10th Society for Personality and Social Psychology	○
学術論文	親密な対人関係に関する楽観性・効力感尺度の邦訳と信頼性・妥当性の検討	浅野良輔	2009年3月31日	対人社会心理学研究, 9, 印刷中	○

9

指導教員	大坊　郁夫	副指導教員	釘原　直樹		
氏名	邵　木子	研究分野名	対人社会心理学	学年	MC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	自己効力感と達成動機が社会的スキルに及ぼす影響	邵木子・大坊郁夫	2008年11月	日本社会心理学会第49回大会発表論文集	

10

指導教員	大坊　郁夫	副指導教員	釘原　直樹		
氏名	谷　忠邦	研究分野名	対人社会心理学	学年	MC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	Relationship between humor and friendships	Tadakuni Tani, Ikuo Daibo	2008年7月25日	the 29th International Congress of Psychology	
学会発表	自己の精神的健康とユーモアの有無が関係満足度に及ぼす影響	谷忠邦・大坊郁夫	2008年10月1日	日本社会心理学会第49回大会論文集 234-235	

11

指導教員	大坊　郁夫	副指導教員	釘原　直樹		
氏名	多留　里香	研究分野名	対人社会心理学	学年	MC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	職場の上司―部下の対人葛藤場面における部下の解決方略に関する研究	多留里香・大坊郁夫	2008年11月2日	日本社会心理学会第49回大会論文集　278-279.	

12

指導教員	大坊　郁夫	副指導教員	釘原　直樹		
氏名	西浦　真喜子	研究分野名	対人社会心理学	学年	MC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	相手のことをよく知っているほど魅力的に感じるか―同性友人における熟知性が相手の魅力に与える影響	西浦真喜子・大坊郁夫	2008年11月3日	日本社会心理学会第49回大会発表論文集, 590-591.	
学会発表	同性友人関係における魅力判断次元と関係継続動機との関連	西浦真喜子・大坊郁夫	2008年11月15日	日本パーソナリティ心理学会第17回大会発表論文集, 60-61.	
学会発表	The more familiar, the more attractive? The relation between familiarity and attraction in same-sex friendships.	Makiko Nishiura & Ikuo Daibo	2009年2月6日	The 10th annual meeting of the Society for Personality and Social Psychology, Tampa, FL, USA.	○

13

指導教員	大坊　郁夫	副指導教員	釘原　直樹		
氏名	藤原　健	研究分野名	対人社会心理学	学年	MC　1　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	笑いによる気分誘導がコミュニケーション行動に及ぼす影響	藤原　健・大坊郁夫	2008年8月27日	電子情報通信学会技術研究報告 47-52.	
学会発表	ポジティブ気分が会話行動に与える影響	藤原　健・大坊郁夫	2008年11月3日	日本社会心理学会第49回大会発表論文集 498-499.	
大学・研究所等報告	ポジティブ感情と会話動機との関連	藤原　健・大坊郁夫	2009年3月31日(予定)	対人社会心理学研究, 9, (印刷中)	○

14

指導教員	大坊　郁夫	副指導教員	釘原　直樹		
氏名	安井　圭一	研究分野名	対人社会心理学	学年	MC　1　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	現代青年の友人関係と自我同一性との関連	安井圭一・谷　冬彦	2008年11月15日	日本パーソナリティ心理学会第17回大会発表論文集　212-213	

15

指導教員	釘原　直樹	副指導教員	大坊　郁夫		
氏名	阿形　亜子	研究分野名	対人社会心理学	学年	MC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学術論文	相互独立的自己観・協調的自己観が社会的手抜きに及ぼす影響	阿形亜子・釘原直樹	2008年3月31日	対人社会心理学研究,8, 71-76.	○
学会発表	集団の遂行水準が社会的手抜きに及ぼす影響	阿形亜子・釘原直樹	2008年10月	日本社会心理学会第49回大会発表論文集, 326.	
学会発表	マスコミが対象とするスケープゴートの変遷(10) —感染症の流行を例として—	村上幸史・阿形亜子・植村善太郎・釘原直樹	2008年6月	日本グループ・ダイナミクス会第55回大会, 48	
学会発表	マスコミが対象とするスケープゴートの変遷(11) —テキストデータ分析ソフトを用いた検討の試み—	植村善太郎・村上幸史・阿形亜子・釘原直樹	2008年10月	日本社会心理学会第49回大会発表論文集, 34.	
学会発表	マスコミが対象とするスケープゴートの変遷(10)	釘原直樹・植村善太郎・村上幸史・阿形亜子	2008年10月	日本社会心理学会第49回大会発表論文集, 36.	

16

指導教員	釘原　直樹	副指導教員	大坊　郁夫		
氏名	上原　依子	研究分野名	対人社会心理学	学年	MC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	規範的行動場面における意図推論に関する研究　ーIs virtue its own reward?ー	上原依子・大坊郁夫	2008年11月3日	日本社会心理学会第49回大会論文集　448-449.	

17

指導教員	藤田　綾子	副指導教員			
氏名	中原　純	研究分野名	臨床死生学・老年行動学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
分担執筆	ひとり暮らしの高齢者	中原純	2008年11月25日	國分康孝（監修）　カウンセリング心理学事典、誠信書房　Pp.342-343.	
学術論文	「人生における目的」尺度作成とその規定因の検討	中原純	2008年12月25日	生老病死の行動科学、13, 45-52.	○
学会発表	Productive Role Identity Scale作成の試み	中原純・河村諒・中里和弘・狩谷明美・藤田綾子	2008年6月28日	老年社会科学大会報告要旨号　323.	
学会発表	老人大学におけるプロダクティブ・エイジング志向性の介入効果の検討	河村諒・中里和弘・中原純・久保尚子・長塚美和・竹村節子・枝さゆり・狩谷明美・藤田綾子	2008年6月28日	老年社会科学大会報告要旨号　324.	
学会発表	高齢者における配偶者との不安定な愛着スタイルと生活満足度との関連	中里和弘・中原純・河村諒・狩谷明美・藤田綾子	2008年6月28日	老年社会科学大会報告要旨号　310.	
学会発表	退職後のプロダクティブエイジング志向性に及ぼす友人関係の影響	藤田綾子・河村諒・中原純・中里和弘・狩谷明美	2008年6月29日	老年社会科学大会報告要旨号　273.	
学会発表	独居高齢者の社会的役割が生活満足度に及ぼす影響—同居家族のある高齢者との比較—	中原純・中里和弘・枝さゆり・竹村節子・狩谷明美・藤田綾子	2008年9月21日	日本心理学会第72回大会発表論文集　1205.	
学会発表	前期高齢者のProductive RoleおよびProductive Role Identityが心理的well-beingに与える影響—横断的検討—	中原純・藤田綾子	2008年11月2日	日本社会心理学会第49回大会論文集　674-675.	
学会発表	自立度の高い閉じこもりにおけるプロダクティブ・エイジング志向性	河村諒・中里和弘・中原純・狩谷明美・藤田綾子	2008年11月2日	第16回日本介護福祉学会大会プログラム・要旨集　91.	
学会発表	Effects of role loss and productive role on self-esteem of the elderly in Japan and America.	Nakahara, J.	2008年11月22日	GSA's（Gerontological Society of America）61th Annual Scientific Meeting.	○
翻訳	第22章高齢期の宗教と健康	中原純・藤田綾子	2008年7月20日	藤田綾子・山本浩市（監訳）　エイジング心理学ハンドブック　北大路書房　（J. E. Birren, & K. W. Schaie. Eds, 2006 Handbook of the Psychology of Aging. Elsevier Academic Press）　Pp.349-364.	

18

指導教員	藤田　綾子	副指導教員	権藤　恭之		
氏名	古村　和恵	研究分野名	臨床死生学・老年行動学	学年	DC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
論文	患者・家族と医療者間での情報共有－わたしのカルテ	古村和恵	2008年10月31日	緩和ケア10月増刊号 臨床と研究に役立つ緩和ケアのアセスメント・ツール	
学会発表	がん患者と医療者の情報共有ツール「わたしのカルテ」の必要性に関する質問紙調査：OPTIM STUDY	古村和恵・宮下光令・森田達也・山岸暁美・井村千鶴・前堀直美・平山美香・吉原律子・秋月伸哉・志真泰夫・江口研二	2008年7月4日	第13回日本緩和医療学会学術大会　157	

19

指導教員	藤田　綾子	副指導教員	権藤　恭之		
氏名	中里　和弘	研究分野名	臨床死生学・老年行動学	学年	DC　1　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学術論文	死別経験者に向けた小冊子の必要性と項目内容に関する研究 －死別経験者の意見と要望を通して－	中里和弘・黒田輝政・藤原篤史	2008年6月30日	死の臨床，51，1，90-96.	○
学会発表	高齢者における配偶者との不安定な愛着スタイルと生活満足度との関連	中里和弘・中原純・河村諒・狩谷明美・藤田綾子	2008年6月28日	老年社会科学大会報告要旨号，30，2，310.	
学会発表	Productive Role Identity Scale作成の試み	中原純・河村諒・中里和弘・狩谷明美・藤田綾子	2008年6月28日	老年社会科学大会報告要旨号，30，2，323.	
学会発表	老人大学におけるプロダクティブ・エイジング志向性の介入効果の検討	河村　諒・中里和弘・中原純・久保尚子・長塚美和・竹村節子・枝さゆり・狩谷明美・藤田綾子	2008年6月28日	老年社会科学大会報告要旨号，30，2，324.	
学会発表	退職後のプロダクティブ・エイジング志向性に及ぼす友人関係の影響	藤田綾子・河村諒・中原純・中里和弘・狩谷明美	2008年6月29日	老年社会科学大会報告要旨号，30，2，273.	
学会発表	独居高齢者の社会的役割が生活満足度に及ぼす影響	中原純・中里和弘・枝さゆり・竹村節子・狩谷明美・藤田綾子	2008年9月21日	日本心理学会第72回大会発表論文集，1205.	
学会発表	日本語版Continuing Bonds Scale（「故人との絆の継続」評価尺度）の作成	中里和弘・塩崎麻里子・恒藤暁・平井啓・増本康平・権藤恭之・藤田綾子	2008年9月21日	日本心理学会第72回大会発表論文集，376.	
学会発表	自立度の高い閉じこもりにおけるプロダクティブ・エイジング志向性	河村諒・中里和弘・中原純・狩谷明美・藤田綾子	2008年11月2日	第16回日本介護福祉学会大会プログラム・要旨集，91.	
会報誌	27歳の僕から送る「母への手紙」	中里和弘	2008年6月23日	NPO法人 生と死を考える会会報，113，13－14.	
会報誌	10周年記念講演会のアンケート報告	中里和弘	2008年12月10日	大阪・生と死を考える会会報，31，4-8.	

20

指導教員	藤田　綾子	副指導教員	権藤　恭之		
氏名	中野　雅子	研究分野名	臨床死生学・老年行動学	学年	DC　1　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学術論文	養護施設で生活する高齢者の皮膚の保湿に関する基礎研究	中野雅子　安齋三枝子	2008年8月15日	京都市立看護短期大学紀要33号	○
学会発表	養護施設で生活する高齢者の入浴後のスキンケアに関する一考察	中野雅子　岡田まさみ	2008年10月16日	第39回日本看護学会「地域看護」抄録集	○
学会発表	看護学生の養護施設における認知症高齢者との交流場面の特徴	中野雅子	2008年12月4日	第28回日本看護科学学会学術集会抄録集	○
学会発表	施設で生活する高齢者の皮膚保湿機能の季節による変動の検討	中野雅子	2008年12月4日	第28回日本看護科学学会学術集会抄録集	○

7

指導教員	木前　利秋	副指導教員			
氏名	佐藤　貴宣	研究分野名	現代社会学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	「障害学の動向と到達点：″Disability & Society″を手がかりに」	佐藤貴宣・松原崇・青木千帆子・秋風千恵・安岡愛理	2008年10月26日	第5回障害学会	
学会発表	「教育を再文脈化する教育経験の物語――盲学校における進路問題を中心に」	佐藤貴宣	2008年11月9日	第60回関西教育学会	
学会発表	「障害者は高等教育をどのように経験しているか」	松原崇・佐藤貴宣・青木千帆	2008年11月29・30日	第5回日本質的心理学会	
学術論文	盲教育における組織フィールドの変容と特別支援教育」	佐藤貴宣	2009年3月	『年報人間科学』第30号	
研究ノート	「障害学の動向――“Disability & Society”を手がかりに――」	安岡愛理・佐藤貴宣・青木千帆子・松原崇・秋風千恵	2009年3月	『年報人間科学』第30号	

8

指導教員	木前　利秋	副指導教員	山中　浩司		
氏名	前田　雅司	研究分野名	現代社会学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行発表年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
GCOEシンポジウム発表	排除と包摂の生政治学―アガンベンの剥き出しの生に関する一考察―	前田　雅司	2008年8月24日	グローバルCOEコンフリクトの人文学国際シンポジウム「移動とアイデンティティ」若手研究者研究発表会	

9

指導教員	川端　亮	副指導教員			
氏名	阪口　祐介	研究分野名	経験社会学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学術論文	犯罪リスク知覚の規定構造－国際比較からみる日本の特殊性	阪口祐介	2008年12月1日	社会学評論59(3): 462-477.	○
学術論文	環境保護の支持と環境リスク認知の国際比較分析－二つの環境への関心の異なる規定構造	阪口祐介	2008年3月1日	ソシオロジ164号（印刷中）	○
学会発表	Change and Stability of Respondents Social Orientation	Yusuke, Sakaguchi	2008年11月8日	AJJ(Anthropology of Japan in Japan) Fall Meeting Nov.8 & 9.	○
学会発表	環境への関心はいかなる要因によって形成されるのか－ISSP調査を用いた環境保護の支持と環境リスク認知のマルチレベル分析	阪口祐介	2008年5月25日	第59回関西社会学会大会	
学会発表	内容を反映したもう一つの職業指標―	長松奈美江・阪口祐介・太郎丸博	2008年8月31日	第46回数理社会学会大会	
学会発表	失業リスクと失業不安の関係性－実態と意識の比較分析」（ポスター・セッション）	阪口祐介	2008年11月23日	第81回日本社会学会大会	

10

指導教員	川端　亮	副指導教員	吉川　徹		
氏名	永吉　希久子	研究分野名	経験社会学	学年	DC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
大学・研究所等報告	Whose Size Counts? : Multilevel Analysis of Japanese Anti-Immigrant Attitudes Based on JGSS-2006	Kikuko Nagayoshi	2009年3月15日	JGSS Research Series No. 6 日本版General Social Surveys 研究論文集	

11

指導教員	川端　亮	副指導教員	吉川徹		
氏名	吉岡　洋介	研究分野名	経験社会学	学年	MC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	職歴移動を説明する過去の意識の推定―長期追跡パネルデータによる計量分析とその方法―	吉岡　洋介	2009年3月7日	第47回数理社会学会大会プログラム	

12

指導教員	川端　亮	副指導教員	吉川　徹		
氏名	林　真広	研究分野名	経験社会学	学年	MC　1　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	正規・非正規雇用間賃金格差の日韓台比較	太郎丸 博・林 真広	2008年8月30日	第46回数理社会学会大会研究報告要旨集 23-24.	
大学・研究所等報告	正規・非正規格差は女性の社会進出度で説明できるか——国際比較による検証——	林 真広	2008年9月25日	太郎丸博編 大阪大学大学院人間科学研究科 2008年 人間科学データ専門実習I報告書 15-26.	

13

指導教員	川端　亮	副指導教員			
氏名	平尾　太	研究分野名	経験社会学	学年	MC　1　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
報告書	雇用形態による格差—日本・韓国・台湾の比較を通して	平尾　太	2008年9月25日	太郎丸博編　2008年人間科学データ専門実習Ｉ報告書、1-14	

14

指導教員	吉川　徹	副指導教員	川端　亮		
氏名	田靡　裕祐	研究分野名	経験社会学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	Validity of the Concept of Occupational Self Direction for Cross-National Comparative Studies	Yusuke Tanabiki	2008年11月23日	第81回日本社会学会大会報告要旨集 149.	

15

指導教員	吉川　徹	副指導教員	川端　亮		
氏名	藤原　翔	研究分野名	経験社会学	学年	DC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	Breen & Goldthorpeの相対的リスク回避仮説の検証—父親の子どもに対する職業・教育期待をもとにした計量分析	藤原　翔	2008年8月30日	第46回数理社会学会発表要旨集録	
学会発表	進路多様校からの進学—高校3年間の進路変容過程に関する経時的研究(3)—	中村高康・西田亜希子・藤原翔・岩田考・片山悠樹	2008年9月19日	日本教育社会学会第60回大会発表要旨集録	
学会発表	The Similarity of Orientations between Spouses and its Change over 20 Years: Comparison between the U. S. and Japan	Fujihara, Sho	2008年11月8日	Anthropology of Japan in Japan Fall Meeting 2008	

16

指導教員	吉川　徹	副指導教員	川端　亮		
氏名	梅本　洋輔	研究分野名	経験社会学	学年	MC　1　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
大学・研究所等報告	階層帰属意識の規定要因に関する日韓比較—学歴の世代間移動に注目して—	梅本　洋輔	2008年9月25日	大阪大学大学院人間科学研究科　2008年人間科学データ専門実習Ｉ報告書	

17

指導教員	牟田　和恵	副指導教員	辻　大介		
氏名	東　園子	研究分野名	コミュニケーション社会学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学術論文	少女から女王へ　——宝塚歌劇『ベルサイユのばら』と女性の男性性	東　園子	2008年5月23日	一柳廣孝・吉田司雄編『ナイトメア叢書第6巻 女は変身する』青弓社　92-105	
学術論文	「宝塚」というメディアの構造　——タカラジェンヌの四層構造と物語消費	東　園子	2009年3月（予定）	『宝塚という装置』青弓社（印刷中）	
学術論文	女性のホモソーシャルな欲望の行方　——二次創作「やおい」についての一考察	東　園子	2009年3月（予定）	大野道邦・小川伸彦編『文化の社会学　——記憶・メディア・身体』文理閣（印刷中）	
大学・研究所等報告	バンコクにおける日本のポピュラーカルチャー受容	東　園子	2008年3月27日	「東アジアの生活文化とジェンダー」研究会編『二〇〇七年度大阪大学大学院文学研究科共同研究報告書　東アジアの生活文化とジェンダー——比較文化論的アプローチ』 17-28	

18

指導教員	牟田　和恵	副指導教員	辻　大介		
氏名	稲見　直子	研究分野名	コミュニケーション社会学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学術論文	高齢者によるコレクティブハウジングの可能性－ひょうご復興コレクティブハウジングの事例から－	稲見　直子	2009年3月	ソシオロジ, No.164, 21-37	○

19

指導教員	牟田　和恵	副指導教員	辻　大介		
氏名	藤田　智博	研究分野名	コミュニケーション社会学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会報告	移動パラダイムの生成とグローバリゼーションのリアリティ	藤田　智博	2008年5月24日	関西社会学会、第59回関西社会学会大会報告集5頁、松山大学	
研究報告	グローバル化の文化的論理	藤田　智博	2009年3月14日	第二回「横断するポピュラーカルチャー」研究交流ワークショップ、大阪大学	

20

指導教員	牟田　和恵	副指導教員	辻　大介		
氏名	久保田　裕之	研究分野名	コミュニケーション社会学	学年	DC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	Amsterdamにおけるスクワッティング居住に関する調査—居住・生活・芸術運動という視点から	久保田　裕之	2008年11月23日	第81回日本社会学会大会	
分担執筆	論点23：結婚の類型，論点53：フェミニズムと家族	久保田　裕之	2009年3月20日	野々山久也編　論点ハンドブック　家族社会学、世界思想社、Pp.109-112,Pp.251-254	

＜その他：新聞記事など＞

年月	**氏名**	**内容**	**掲載紙誌名**
2008.8	久保田　裕之	Squat the World!—拡大する居住運動と地域住民との共犯関係	酒井隆史ほか編『VOL』3:197-201、以文社

21

指導教員	牟田　和恵	副指導教員	山中　浩司		
氏名	白岩　優姫	研究分野名	コミュニケーション社会学	学年	DC　1　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	「自然な出産」をめぐるポリティクス	白岩　優姫	2008年5月24日	関西社会学会第59回大会要旨集	

22

指導教員	牟田　和恵	副指導教員	辻　大介		
氏名	鈴木　彩加	研究分野名	コミュニケーション社会学	学年	MC　1　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
書評	構造化するバックラッシュ	鈴木　彩加	2009年3月1日	年報人間科学	

23

指導教員	牟田　和恵	副指導教員	辻　大介		
氏名	玉城　福子	研究分野名	コミュニケーション社会学	学年	MC　1　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学術論文（研究ノート）	沖縄の「慰安所」研究の再考－住民の役割に注目して－	玉城　福子	2009年3月 発刊予定	『年報人間科学』vol.30	

＜その他：新聞記事など＞

年月	**氏名**	**内容**	**掲載紙誌名**
2008.12.2	玉城　福子	「慰安婦」問題の解決を求め、台湾の被害者を招いて行われた証言集会（2008年11月30日）の中で、若者からの発言として沖縄の「慰安所」の事、日本の責任について短い意見を述べた。	毎日新聞　京都版

24

指導教員	牟田　和恵	副指導教員	山中　浩司		
氏名	安岡　愛理	研究分野名	コミュニケーション社会学	学年	MC　1　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表（ポスター発表）	障害学の動向と到達点：Disability & Societyを手がかりに	佐藤貴宣・松原崇・青木千帆子・秋風千恵・安岡愛理	2008年10月25日～26日	第5回障害学会	
大学・研究所等報告	障害学の動向——“Disability & Society”を手がかりに——	安岡愛理・佐藤貴宣・青木千帆子・松原崇・秋風千恵	2009年3月31日	『年報人間科学』第三十号（印刷中）	

25

指導教員	山中　浩司	副指導教員	牟田　和恵		
氏名	工藤　直志	研究分野名	文化社会学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	地域住民の緩和ケアの利用に対する準備性と各種メディアに対する信頼性	平井啓・工藤直志・塩崎麻里子・山木照子・秋山美紀・的場元弘・宮下光令・森田達也・秋月伸哉・白髭豊・江口研二	2008年7月4日～5日	『第13回日本緩和医療学会学術集会』	
学会報告	"Working with Electronic Medical Record: Some Results from Research at Japanese Regional Hospitals"	Hiroshi YAMANAKA and Tadashi KUDO	August 20-23 2008	Annual Meeting of the Society for Social Studies of Science (4S) in association with the European Association for the Study of Science and Technology (EASST)	
学術論文	"Palliative Care in Japan: Current Status and a Nationwide Challenge to Improve Palliative Care by the Cancer Control Act and the Outreach Palliative Care Trial of Integrated Regional Model (OPTIM) Study,"	Akemi Yamagishi, Tatsuya Morita, Mitsunori Miyashita, Nobuya Akizuki, Yoshiyuki Kizawa, Yutaka Shirahige, Miki Akiyama, Kei Hirai, Tadashi Kudo, Takuhiro Yamaguchi, Asuka Fukushima, and Kenji Eguchi	October/November 2008	American Journal of Hospice & Palliative Care, 25(5): 412-418.	○
学術論文	「医療現場における電子カルテの影響―医師・看護師における仕事の負担問題を中心に」	工藤直志・山中浩司	2009年3月	『大阪大学大学院人間科学研究科紀要』35: 153-171	
学術論文	Constructing Readiness: Process of Genetic Counseling Related to Presymptomatic Diagnosis in Japan	Akiko Iwabuchi, Tadashi KUDO	2009年3月	『追手門学院大学社会学部紀要』3（印刷中）	

26

指導教員	山中　浩司	副指導教員	牟田　和恵		
氏名	竹内　慶至	研究分野名	文化社会学	学年	DC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	ホスピス・緩和ケア病棟における『ケア』――ケア実践と実践を支える条件――	竹内　慶至	2008年5月18日	第34回日本保健医療社会学会大会(於首都大学東京)	
学会発表	現代高校生の規範意識(2)――高校生の友人関係――	竹内　慶至	2008年5月25日	第59回関西社会学会大会(於松山大学)	
学会発表	Initiating the Commercialization ofBiomedical Research in Japan: Implications for University as a Public Domain	Takahiro Ueyama, Noriyuki Takeuchi, Hiroshi Yamanaka	2008年8月22日	Annual Meeting of the Society for Social Studies of Science (4S) in association with the European Association for the Study of Science and Technology (EASST) (Rotterdam, The Netherlands	

27

指導教員	山中　浩司	副指導教員	斉藤　弥生		
氏名	真柄　希里穂	研究分野名	文化社会学	学年	DC　1　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
分担執筆	相談援助の理論と方法Ⅱ	真柄　希里穂	2009年1月30日	第11章　相談援助の実際 「セルフヘルプグループの事例」 P203-210	

28

指導教員	Robert Scott North	副指導教員	吉川　徹		
氏名	Naumov Andriy	研究分野名	文化社会学	学年	DC　1　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	Population trends and inequality in Japan	Naumov Andriy	2009/3/15	International Sociological Association RC28 RUC(Beijing) Renmin University	

＜その他：新聞記事など＞

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2009.2	Naumov Andriy	"Marriage in Japan"	MicDrim新聞 （ウクライナ・キエフ2009　p.5）

29

指導教員	Robert Scott North	副指導教員	山本 Beverley		
氏名	Indon, Joseph Ryan Manapsal	研究分野名	文化社会学	学年	MC 1 年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	Changing Contours of Migration and Citizenship in Japan: Conflicting Ideas over Tradition and New Paradigms	Indon, Joseph Ryan M.	8 November 2008	Anthropology of Japan in Japan, Fall Meeting 2008	

30

指導教員	堤 修三	副指導教員	斉藤 弥生		
氏名	濱田 佐知子	研究分野名	福祉社会論	学年	MC 1 年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学術論文	介護保険施設における抑制しないケアの実現に向けた介護相談員の役割	濱田 佐知子	2008年6月30日	介護福祉士(中央法規出版) 6,1, 52-57.	○
分担執筆	第20回社会福祉士国家試験解説集	濱田 佐知子	2008年7月20日	社団法人日本社会福祉士養成校協会編集「介護概論」中央法規出版Pp.362-367 問題148-150	
学術論文	介護福祉従事者を対象としたICFの理解と活用－ICFモデルを理解するための教育方法の試論	濱田 佐知子	2008年9月1日	四天王寺大学紀要、46, 465-475	○
分担執筆	2008年度社会福祉士全国統一模擬試験・解説書	濱田 佐知子	2008年10月10日	(社)日本社会福祉士会主催.福祉教育カレッジ問題製作.(株)ティ・エム・エス編集Pp198-206 問題142.144.146.147.148	
分担執筆	平成20年社会福祉士全国統一模擬試験 正答・解説集	濱田 佐知子	2008年11月1日	(社)日本社会福祉士養成校協会 Pp64-68 問題141-150	
講演	介護相談員研修「介護相談員の実践活動におけるポイント」	濱田 佐知子	2009年2月10日	主催：宮崎県・社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会 会場：宮崎県福祉総合センター	

31

指導教員	斉藤 弥生	副指導教員	堤 修三		
氏名	久保 恵理子	研究分野名	福祉社会論	学年	MC 2 年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	認知症高齢者の介護家族に関する研究－デイサービス、ショートステイサービス利用者家族へのインタビューから－	久保 恵理子	2008年6月15日	日本地域福祉学会第22回大会要旨集	

32

指導教員	斉藤 弥生	副指導教員	堤修三・中村安秀・権藤恭之		
氏名	中川 威	研究分野名	共生社会論	学年	MC 2 年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	高齢者における老年的超越に関する質的研究；予備調査の結果報告	中川 威	2008年6月28日	第50回日本老年社会科学大会	
学会発表	地域福祉における参加型アートプログラムの実践と評価研究に関する考察	中川 威	2008年12月14日	第2回アートミーツケア学会	
大学・研究所等報告	老年的超越に関する一考察：実証的研究と批判の動向	中川 威	2008年12月25日	生老病死の行動科学, 13, 91-100.	○

33

指導教員	渥美　公秀	副指導教員			
氏名	小林　仁	研究分野名	共生社会論	学年	MC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	素人とデザイナーの協働によるデザイン活動の実践	小林仁, 渥美公秀, 花村周寛, 本間直樹	2008年6月15日	日本グループ・ダイナミックス学会第55回大会	○
学会発表	Changing the constructed social representations through designing and practicing -DATA HANDAI Project-	Hitoshi KOBAYASHI, Tomohide ATSUMI, Chikahiro HANAMURA, Naoki HONMA	Thursday, July 3, 2008	The 9th International Conference on Social Representations	○
学会発表	A trial to change the social representations of the real community -"DATA HANDAI Project" in Osaka University-	Hitoshi KOBAYASHI, Tomohide ATSUMI, Chikahiro HANAMURA, Naoki HONMA	Tuesday, July 22, 2008	The 29th International Congress of Psychologist	○
学会発表	生活環境の社会的表象を異化する実践研究-"DATA HANDAIプロジェクト"のデザインと実践-	小林仁, 渥美公秀	2008年9月20日	日本心理学会第72回大会	
学術論文	馴致された生活環境を再構成するためのプロジェクト型ツールのデザインと実践	小林仁, 渥美公秀, 花村周寛, 本間直樹	2009年2月24日（受理）	実験社会心理学研究（印刷中）	○

34

指導教員	渥美　公秀	副指導教員	堤　修三		
氏名	堀江　尚子	研究分野名	地域共生論	学年	DC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	Study of the Collaborative Practices between Welfare Institution and Community: Toward Avoiding Conflicts	Naoko HORIE & Tohide ATSUMI	2008年6月14日	日本グループ・ダイナミックス学会第54回大会発表論文集　88-89.	
学会発表	A Community Café: Its Meaning for people	Naoko HORIE & Tohide ATSUMI	2008年7月3日	the 9th International Conference on Social Representations. 103.	
大学・研究所等報告	ホームレス支援の最前線　2008年春 第1回 「ホームレス支援全国ネットワーク」研修会	水内俊雄・稲田七海・蓬莱梨乃・堀江尚子・渥美清	2008年8月1日	URP GCOE Working Paper Series,　No2, 1-100.	
学会発表	生活保護施設退所者へのアフターケア 施設と地域の共同活動を通して	堀江尚子・渥美公秀	2008年9月20日	日本心理学会第72回大会発表論文集 237.	
学会発表	ホームレス当事者、支援者の規範の変性過程（予定）	堀江尚子	2009年3月（予定）	フィールドワーク社会心理学会	

35

指導教員	渥美　公秀	副指導教員			
氏名	宮本　匠	研究分野名	地域共生論	学年	MC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学術論文	災害復興における物語と外部支援者の役割について～新潟県中越地震の事例から～	宮本匠・渥美公秀	2008年6月30日付受理（掲載号未定）	実験社会心理学研究	○
学会発表	Types and balance of outside supporters' roles-Action research for Niigata Chuetsu earthquake-	Miyamoto,T., Atsumi, T. & Abe,T.	2008年6月15日	日本グループ・ダイナミックス学会第55回大会発表論文集 96-97	
学会発表	Creative process of community revitalization from narrative approach: A case study from Chuetsu earthquake	Miyamoto,T., Atsumi, T.	2008年7月22日	XXIX International Congress of Psychology	○
学会発表	被災地住民にとっての復興過程の意味付けについての研究	宮本匠・渥美公秀	2008年9月19日	日本心理学会第72回大会発表論文集　73	
学会発表	被災者自身による復興過程のセンスメーキングについて	宮本匠・渥美公秀	2008年9月25日	第27回日本自然災害学会学術講演会講演概要集　187-188	
学会発表	創発する復興～新潟県中越地震における川口町の復興過程について～	宮本匠・渥美公秀・阿部巧・星野晃男・水落優	2008年11月22日	日本災害復興学会2008年度学会大会予稿集 41-46	

＜その他：新聞記事など＞

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2008.10	宮本　匠	中越地震4周年特集記事	新潟日報

＜受賞＞

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2008.9	宮本　匠	日本自然災害学会平成20年度学術発表優秀賞	日本自然災害学会

36

指導教員	峯　陽一	副指導教員	栗本　英世		
氏名	内山　智絵	研究分野名	人間の安全保障研究室	学年	MC　2　年
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	セネガルにおけるイスラム教団とセキュリティ	内山　智絵	2008年9月21日		

37

指導教員	中山　康雄	副指導教員	檜垣　立哉		
氏名	池吉　琢磨	研究分野名	論理科学・科学基礎論	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学術論文	概念プラグマティズムをめぐって	池吉　琢磨	2009年3月	年報人間科学第30号(印刷中)	○

38

指導教員	中山　康雄	副指導教員	檜垣　立哉		
氏名	福田　佑二	研究分野名	論理科学・科学基礎論	学年	MC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
書評	Cappelen, H. and Lepore, E., 2005, Insensitive Semantics, Oxford: Basil Blackwell.	福田　佑二	2009年3月	大阪大学大学院人間科学研究科社会学・人間学・人類学研究室、年報人間科学　30号	

39

指導教員	中山　康雄	副指導教員	檜垣　立哉		
氏名	本山　明日香	研究分野名	論理科学・科学基礎論	学年	MC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学術論文	固定性概念の有用性と二つの可能性について	本山　明日香	2009年3月31日	『年報人間科学』vol.30、大阪大学大学院人間科学研究科、社会学・人間学・人類学研究室発行(印刷中)	○

40

指導教員	檜垣　立哉	副指導教員	村上　靖彦		
氏名	佐古　仁志	研究分野名	基礎人間学・現代記号学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	生態心理学の新たな基礎付けに向けて−パース記号論的観点から	佐古　仁志	2008年5月11日	日本記号学会第28回大会	
学会発表	生態学的絵画論に向けて ―N.Goodman との関連で―	佐古　仁志	2008年8月23日	日本生態心理学会第2回大会	
大学・研究所等報告	アフォーダンスと技術	佐古　仁志	2009年3月31日	年報人間科学, 30 (印刷中)	

41

指導教員	檜垣　立哉	副指導教員			
氏名	山森　裕毅	研究分野名	基礎人間学・現代記号学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学術論文	どうすれば再び思考し始めることができるのか	山森　裕毅	2009年2月20日	フランス哲学・思想研究	○
研究発表	ダンスの場と交流	山森　裕毅・森　元斎・松本　明子	2008年4月	日本記号学会	
研究ノート	「無能力者」についての研究ノート	山森　裕毅	2009年3月	年報人間科学(印刷中)	
研究会発表	九鬼周造の情緒論	山森　裕毅	2008年8月	「現在思想の会」	

＜その他：新聞記事など＞

年月	**氏名**	**内容**	**掲載紙誌名**
2008.9	山森　裕毅	書評　エミール・ゾラ『居酒屋』	大阪大学図書館報
不定期連載	山森　裕毅	パリ滞在記	現在思想の会　メーリングリスト

42

指導教員	檜垣　立哉	副指導教員	村上　靖彦		
氏名	小林　卓也	研究分野名	基礎人間学・現代記号学	学年	DC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	「現代フランスにおけるソシュール研究に関する一考察」	小林　卓也	2008年5月10日	日本記号学会第28回大会	
翻訳	『ベルクソンからドゥルーズへの三つの手紙」	小林　卓也	2008年12月1日	『現代思想：特集ドゥルーズ』青土社, 2008, Pp.163−175.	○

43

指導教員	檜垣　立哉	副指導教員			
氏名	橘　真一	研究分野名	基礎人間学・現代記号学	学年	MC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
書評	Jean-Hugues Barthélémy, Simondon ou L'encyclopédisme Génétique, PUF, 2008	橘　真一	2009年3月31日	大阪大学人間科学部社会学・人間学・人類学研究室『年報人間科学』第30号（印刷中）	

44

指導教員	檜垣　立哉	副指導教員			
氏名	森　元斎	研究分野名	基礎人間学・現代記号学	学年	MC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
書評論文	Whitehead's Philosophy of Science, Chicago Univ Press	Motonao Mori	Mar,2009	『年報人間科学』（印刷中）	○
研究会発表	「ホワイトヘッドにおける出来事について」	森　元斎	2009年1月30日	大阪科学思想史研究会	
学会発表	「ホワイトヘッド自然哲学における同時性と合同について」	森　元斎	2008年10月26日	日本ホワイトヘッド・プロセス学会　予稿集 pp.153-157	○
学会発表プロジェクト	「ダンスと場の交流」	森　元斎	2008年4月11日	日本記号学会	○
研究会発表	「同時性に関する一考察」	森　元斎	2008年3月23日	ベルクソン哲学研究会	
翻訳	ブライアン・ホームズ「文化的空間の諸問題」	森　元斎	2008年6月1日	『VOL』pp.44-49、以文社	

45

指導教員	檜垣　立哉	副指導教員	村上　靖彦		
氏名	小倉　拓也	研究分野名	基礎人間学・現代記号学	学年	MC　1　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
翻訳	ドゥルーズの存在論	小倉拓也・近藤和敬	2008年12月27日	現代思想、vol.36-15、2008年12月号、青土社、2008、pp.126-149	
大学・研究所等報告	[書評]Yann Laporte, *Gilles Deleuze, l'épreuve du temps*	小倉拓也	2009年3月（予定）	年報人間科学、第30号、大阪大学人間科学部社会学・人類学・哲学研究室、2009（印刷中）	

46

指導教員	檜垣　立哉	副指導教員	村上　靖彦		
氏名	林　健太郎	研究分野名	基礎人間学・現代記号学	学年	MC　1　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
書評論文	Dossie Easton, Catherine A.Liszt *The Ethical Slut*	林　健太郎	2009年3月	渡邊太編　年報人間科学第30号（印刷中）	

47

指導教員	村上　靖彦	副指導教員	檜垣　立哉		
氏名	塩飽　耕規	研究分野名	基礎人間学・現代記号学	学年	DC　1　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
書評	Paul Ricoeur,le Self selon psychanalyse et selon philosophy phenomenologique	塩飽　耕規	印刷中	大阪大学人間科学部紀要	

48

指導教員	小泉　潤二	副指導教員	中川　敏		
氏名	上田　達	研究分野名	人類学	学年	DC　3　（2008年9月退学）
大学・研究所等の報告	「国民生成に関する人類学的研究・織――マレーシア都市村落の事例	上田　達	2008年5月	富士ゼロックス小林節太郎記念基金小林フェローシップ2006年度研究助成論文	
大学・研究所等の報告	Realizing the Vision: An Anthropological Study on the Urban Kampung, Sabah, Malaysia	上田　達	2008年9月16日	The Second Joint Seminar of Faculty of Arts and Social Sciences, Universiti Brunei Darussalam (FASS UBD) and The Institute of Oriental Culture, University of Tokyo (IOC UT)	

49

指導教員	中川　敏	副指導教員			
氏名	森田　良成	研究分野名	人類学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
分担執筆	「貧乏――『カネがない』とはどういうことか」	森田　良成	2008年8月5日	春日直樹編　『人類学で世界をみる――医療・生活・政治・経済』、ミネルヴァ書房、pp.295-307.	
研究会発表	「出稼ぎ農民たちの『抗議』の顛末――西ティモールの都市における廃品回収人のコミュニティ 」	森田　良成	2008年7月5日	国立民族学博物館共同研究会「東アジア・東南アジア地域におけるコミュニティの政治人類学」（代表：平井京之介）、於国立民族学博物館。	
研究会発表	「『怠け者』たちの労働と生存―西ティモールの廃品回収人の事例」	森田良成	2008年7月26日	京都人類学研究会シンポジウム（共催：京都大学GCOE「生存基盤持続型の発展を目指す地域研究拠点」、大阪大学GCOE「コンフリクトの人文学国際研究教育拠点」）、於京都大学。	
研究会発表	「抗議の行方――廃品回収人と親方の衝突をめぐって」	森田　良成	2008年10月18日	大阪大学グローバルCOE・コンフリクトの人文学国際研究教育拠点、「『コンフリクト』を理解する理論的・方法論的な研究」（代表：春日直樹）於大阪大学。	
学術論文	「村人たちとストリート――西ティモールのアナ・ボトルにみる希望」	森田　良成	印刷中	関根康正編『ストリートの人類学』「国立民族学博物館調査報告」	○

50

指導教員	栗本　英世	副指導教員			
氏名	奥田　若菜	研究分野名	人類学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
論文	貧困層として生きる現代ブラジル社会－都市と北東部を巡る生活史	奥田　若菜	2008年4月	富野幹雄編『グローバル化時代のブラジルの実像と未来』行路社、pp. 50-69	
論文	ブラジリアにおける二つの不法問題	奥田　若菜	2009年1月	住田育法他編『ブラジルの都市問題』春風社、pp. 131-153	
翻訳	ある一都市の考古学－ブラジリアと衛星都市	奥田　若菜	2009年1月	住田育法他編『ブラジルの都市問題』春風社、pp. 82-100　原文：Gustavo Lins Ribeiro	
翻訳	“昼間の断水、夜間の停電－リオデジャネイロ都市部における過去20年のインフラ整備の進展	奥田　若菜	2009年1月	住田育法他編『ブラジルの都市問題』春風社、pp. 101-130　原文：Kaizo Iwakami Beltao他	

51

指導教員	栗本　英世	副指導教員	春日　直樹		
氏名	西垣　有	研究分野名	人類学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学術論文	ポスト社会主義のストリート	西垣　有	2009年3月中	民博SER『ストリートの人類学』（印刷中）	○
学会発表	公的空間と私的空間	西垣　有	2008年5月31日	日本文化人類学会第42回研究大会	

52

指導教員	栗本　英世	副指導教員	中川　敏		
氏名	早川　真悠	研究分野名	人類学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
国際ワークショップ発表	The Quantifiable and the Unquantifiable: An Analysis on the Morality of Exchange in Current Zimbabwe.	早川　真悠	2008年5月8日	International Workshop “Zimbabwe: the Past, Current and Future、Institute of Development Studies、University of Zimbabwe、Harare、Zimbabwe	
学会発表	Exchanges in Current Zimbabwe: Rationalization of Economic Activities alongside the Zimbabwean dollar.	早川　真悠	2008年9月2日	Anthropology Southern Africa Annual Conference 2008、University of the Western Cape、Bellville、South Africa	

53

指導教員	栗本　英世	副指導教員			
氏名	唐澤　佑子	研究分野名	人類学	学年	DC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
研究ノート	現状打破の手段としてのヒップホップ－チェコのジプシー音楽グループ、Gipsy.czの事例より－	唐澤佑子	2009年3月15日	コンフリクトの人文学、1,1, 163-184	○
ワークショップ発表	チェコ・スロヴァキアのロマ文学の現状 ― 文学研究・人類学的アプローチから	唐澤佑子、佐々木茂人、大矢章子	2009年3月19日		

54

指導教員	栗本　英世	副指導教員			
氏名	松崎　遼子	研究分野名	人類学	学年	MC　1　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
研究ノート	「現代における迷信打破運動――韓国のプロテスタント教会よる活動と非キリスト教徒との摩擦」	松崎　遼子	2009年3月(発行予定)	『コンフリクトの人文学』	

55

指導教員	春日　直樹	副指導教員	栗本　英世		
氏名	藤井　真一	研究分野名	人類学	学年	MC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学術論文	＜書評＞ヤン・ネーデルフェーン・ピーテルス『グローバル化か帝国か』	藤井　真一	2009年3月中旬発行予定	コンフリクトの人文学、1、64-71。	
研究会発表	人類学における平和の研究	藤井　真一	2009年2月28日	平成20～23年度国立民族学博物館共同研究「平和・紛争・暴力に関する人類学的研究の可能性」(小田博志代表)、於国立民族学博	
研究会発表	平和をめぐる「伝統」と「近代」の相克	藤井　真一	2009年3月28日	日本文化人類学会近畿地区研究懇談会・修士論文発表会、於国立民族学博物館。	

56

指導教員	春日　直樹	副指導教員	森田　敦郎		
氏名	松本　篤	研究分野名	人類学	学年	MC　1　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
大学・研究所等報告	「つたなさのテクノロジー」	西川　勝(CSCD)・松本　篤	2009年3月31日	『Communication-Design2』大阪大学コミュニケーションデザイン・センター　大阪大学出版会	○

教育学系	在籍者	回答者	研究成果	成果有の人数(%)
	127名	79名	有　40名	51%
	回答者率	62%	無　39名	

1

指導教員	藤川　信夫	副指導教員			
氏名	國崎　大恩	研究分野名	教育人間学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学術論文	教育思想史研究の可能性に関する一つの試論 ―「かのように」の教育を超えて	國崎　大恩	2008年9月12日	教育思想史学会編,『近代教育フォーラム』, No.17, 269～273頁	

2

指導教員	藤岡　淳子	副指導教員			
氏名	山田　順久	研究分野名	教育心理学	学年	MC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	思春期少年のインターネットを利用した性行動と心理的影響	葛原昌司・山田順久	2008年10月4・5日	犯罪心理学研究（未定）	

3

指導教員	中谷　素之	副指導教員	藤岡　淳子		
氏名	辻本　耐	研究分野名	教育心理学		DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	The Development of Concept of Death among Japanese Kindergarteners	Tai Tsujimoto	2008年7月	ＸＸⅨ International Congress of Psychology, 2008. 7.(Berlin, Germany)	
学会発表	幼児期における死の概念の発達的変化	辻本　耐	2008年10月	日本教育心理学会第50回総会発表論文集, p704	

4

指導教員	中谷　素之	副指導教員	藤岡　淳子		
氏名	大谷　和大	研究分野名	教育心理学	学年	MC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	青年前期用自己価値の随伴性尺度の開発	大谷和大・中谷素之	2008年10月13日	第50回教育心理学会総会	

5

指導教員	中谷　素之	副指導教員	藤岡　淳子		
氏名	田中　康博	研究分野名	教育心理学	学年	MC　1　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	Teacher's classroom management and children's behavior At the beginning of the semester	田中　康博	2008年7月25日	ＸＸＩＸ International Congress of Psychology poster presentations	
学会発表	学級づくり期における教師の学級経営観の変容過程	田中　康博	2008年10月	第50回日本教育心理学会総会発表論文集	

6

指導教員	中谷　素之	副指導教員	藤岡　淳子		
氏名	山村　麻予	研究分野名	教育心理学	学年	MC　1　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	小中学生における向社会性についての規範認知と行動及び理由の発達的変化	山村麻予・中谷素之	2008年10月11日	日本教育心理学会第５０回大会論文集	
学会発表	児童期における「表出しない向社会的行動」の概念化　ー具体的援助の生起しない葛藤場面における行動理由からー	山村麻予・中谷素之	2009年3月23日	日本発達心理学会第20回大会論文集（印刷中）	

＜受賞＞

年月	**受賞者名**	**賞名**	**授与団体**
2008.4.1	山村　麻予	大学院GP（大学院学生データ収集・解析支援基金）	大阪大学大学院　人間科学研究科

7

指導教員	前迫　孝憲	副指導教員			
氏名	伊丹　君和	研究分野名	教育工学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
大学・研究所等報告	看護者の腰痛予防のためのCAI教材「ボディメカニクス活用の自己学習システム」の開発	伊丹君和, 安田寿彦, 前迫孝憲, 豊田久美子, 寄本　明	2008年5月1日	平成17-19年度科学研究費補助金 基盤研究（C）研究成果報告書	
大学・研究所等報告	移乗動作における患者・看護者の身体的・心理的負担の検討-動作解析と主観評価の分析から-	伊丹君和, 安田寿彦, 久留島美紀子, 豊田久美子, 石田英實	2009年3月15日	看護人間工学研究誌（印刷中）.	○
大学・研究所等報告	東洋式リンパマッサージを取り入れた看護技術開発に関する予備研究	本田可奈子, 久留島美紀子, 伊丹君和, 江藤美和子, 田中香織, 豊田久美子	2009年3月31日	人間看護学研究,No7（印刷中）.	○
学会発表	人と関わる体験およびボランティア活動が看護学生に与える影響	鈴木絵夢, 高見紀江, 伊丹君和	2009年2月4日	第39回日本看護学会論文集　看護教育, 199-201	○
学会発表	ボディメカニクス活用における自己動作チェックシステムの試作と評価	伊丹君和, 久留島美紀子	2008年8月2日	看護学教育学会第18回学術集会講演集, 209	○
学会発表	自立支援型移乗介助ロボットの研究　ー 第5報　移動機能の検討 ー	大野 和宏, 安田 寿彦, 辻幹洋, 田中勝之, 伊丹 君和, 豊田久美子, 石田英實	2008年6月1日	日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会'08CD-ROM講演論文集	
学会発表	看護者のためのボディメカニクス学習支援システムの試作 ー第2報　動作画像表示および音による警告機能ー	安田寿彦, 伊丹君和, 豊田久美子, 石田英實, 田中勝之	2008年9月1日	日本機械学会第8回福祉工学シンポジウム講演論文集, 118-121	

8

指導教員	前迫　孝憲	副指導教員			
氏名	奥林　泰一郎	研究分野名	教育工学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	Japan-US Water Investigation Project and its Relative Issues	Taiichiro Okubayashi, Akiko Nakazawa, Spence Zaorski, Katsusuke Shigeta, Takanori Maesako	2008年8月5日	International Conference on Teaching and Learning with Technology 2008, 69, Singapore, Singapore.	○
学会発表	How Can We Apply HyperMirror to Distance Learning?	Akiko Nakazawa, Taiichiro Okubayashi, Spence Zaorski, Katsusuke Shigeta, Takanori Maesako	2008年8月5日	International Conference on Teaching and Learning with Technology 2008, 69, Singapore, Singapore.	○
学会発表	教員を対象とする防災・危機対応研修プログラムー米国FEMA の取り組みー	奥林泰一郎, 中澤明子, 小久保力, 上田明久, 木村沙織, 新川壯光, 前迫孝憲	2008年9月5日	教育システム情報学会第33回全国大会講演論文集、502-503.	
学会発表	非同期環境を中心とする交流学習におけるコミュニケーション支援の提案ーJapan-USA Teen Talk Project を事例としてー	奥林泰一郎, 中澤明子, スペンス ゼオースキ, 上田明久, 新川壯光, 前迫孝憲	2008年10月11日	日本教育工学会第24回全国大会講演論文集、275-276.	
学会発表	ICTを活用した日本-タイ間の遠隔学習における特徴ー多様な遠隔学習への「超鏡」の適用を目指してー	中澤明子, 今井亜湖, 吉本優子, 奥林泰一郎, 重田勝介, ゼオースキ スペンス, 前迫孝憲, 藤倉純子, 池田裕美, 武藤志真子, 森川治	2008年10月13日	日本教育工学会第24回全国大会講演論文集、109-112.	○
学会発表	Use of Multiple Tools in Distance Learning: International Distance Learning Using "HyperMirror"	Akiko Nakazawa, Taiichiro Okubayashi, Spence Zaorski, Katsusuke Shigeta, Hideya Matsukawa, Yuko Yoshimoto, Ako Imai, Takanori Maesako	2008年11月21日	APRU 9th Distance Learning and the Internet Conference, 119-123, Tokyo, Japan.	○
学術論文	異なる遠隔共同作業環境を併用した実践の試み	中澤明子, 奥林泰一郎, スペンス・ゼオースキ, 前迫孝憲	2008年11月30日	教育システム情報学会誌、25(3)、329-334.	○

9

指導教員	前迫　孝憲	副指導教員			
氏名	佐野　彰	研究分野名	教育工学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	Wii リモコンを活用した AR システム	佐野　彰	2008年9月3日	教育システム情報学会全国大会　論文集	
学会発表	マーカーとセンサを併用したARシステム「SIBS」の開発	佐野　彰	2008年10月13日	日本教育工学会全国大会　論文集	
大学・研究所等報告	九州産業大学学内SNSシステムの構築	佐野　彰	2008年11月30日	九州産業大学総合情報基盤センター研究報告COMMON	
学術論文	観察者の幅広い動きに対応したARシステム「SIBS」の開発	佐野　彰	2008年12月20日	日本教育工学会論文誌 32(Suppl.), 69-72, 2008	○

＜その他：新聞記事など＞

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2009.1	佐野彰	作品『Composition 1960 #5 by La Monte Young』New Version(デザインとプログラミング)	Shinji Kanki INAUDIBLE CONCEPT Solo exhibition of thte experimental sound works, Kuvataideakatemian Galleria Kasarmikaku 44 Helsinki, Finland

10

指導教員	前迫　孝憲	副指導教員	中谷　素之		
氏名	谷口　るり子	研究分野名	教育工学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学術論文	Webを用いた学習支援方法の利用度と試験の点数による比較	谷口　るり子	2008年11月30日	教育システム情報学会誌, 25, 3, 321-328	○
学会発表	授業欠席者のWeb教材の利用度分析	谷口　るり子	2008年11月14日	教育システム情報学会研究報告, 23, 4, 14-17	

11

指導教員	前迫　孝憲	副指導教員	平沢　安政		
氏名	辻岡　圭子	研究分野名	教育工学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
大学・研究所等報告	満足度に関する潜在的要因の検討ー性別分業意識及び仕事に対する考え方との連関	辻岡　圭子	2008年9月25日	『社会階層・雇用形態・意識』, 大阪大学大学院人間科学研究科2008年人間科学データ専門実習Ⅰ報告書, PP.39-51	○

12

指導教員	前迫　孝憲	副指導教員	志村　剛		
氏名	岡本　尚子	研究分野名	教育工学	学年	DC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	脳科学と数学教育学の学際的研究の可能性についての動向	岡本尚子・黒田恭史	2008年7月27日	数学教育学会夏季研究会発表論文集：25-32	
学会発表	Effectiveness of NIRS in Educational Research	Naoko Okamoto・Hideo Eda・Yasufumi Kuroda・Takanori Maesako	2008年9月28日	WORLD AUTOMATION CONGRESS, International Forum on Multimedia and Image Processing526: 1-6	○
学会発表	Measuring the Moment of Understanding while Solving Mathematical Puzzles	Hideo Eda・Yasufumi Kuroda・Naoko Okamoto・Takanori Maesako	2008年9月28日	WORLD AUTOMATION CONGRESS, International Forum on Multimedia and Image Processing530: 1-6	○
学会発表	Measurement of brain activation difference during different mathematical tasks by near infrared spectroscopy	Naoko Okamoto・Yasufumi Kuroda・Britton Chance・Shoko Nioka・ Hideo Eda・Takanori Maesakoa	2009年1月24日	SPIE-International Society for Optical Engineering.（印刷中）	○
学会発表	Visualization of children's mathematics solving process using near infrared spectroscopic approach	Yasufumi Kuroda・Naoko Okamoto・Britton Chance・Shoko Nioka・ Hideo Eda・Takanori Maesakoa	2009年1月24日	SPIE-International Society for Optical Engineering.（印刷中）	○

13

指導教員	前迫　孝憲	副指導教員	井村　修		
氏名	張　海	研究分野名	教育工学	学年	DC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	中国におけるICT活用授業プロジェクト「超越」の実践	張海・何克抗・前迫孝憲	2008年10月11日	日本教育工学会第24回全国大会講演論文集 575-576	
学会発表	Developing and Practice of a Ubiquitous Communication Support System in a Conference	Hai Zhang・Zhuohuan Li・Takanori Maesako	2008年10月11日	日本教育工学会第24回全国大会講演論文集 917-918	
学会発表	A Theoretical Framework of Ecosystem of Learner Development for Designing a Practical Ubiquitous Learning Environment	Hai Zhang・Takanori Maesako	2008年11月23日	Advances in Blended Learning Second Workshop on Blended Learning, WBL 2008, Jinhua, China, Augustl 20-22, 2008. Revised Selected Papers Lecture Notes in Computer Science Volume 5328/2008 Springer Berlin / Heidelberg Pp.83-92	○
学術論文	移動学習研究和実践的新指向.	張海・周晶	2008年10月1日	中国信息技術教育 10,28-30	○
学術論文	A Framework of Learner Development Ecosystem for Designing a Ubiquitous Educational Infrastructure	Hai Zhang・Takanori Maesako	2009年4月1日	Journal of Software 4,2 (印刷中)	○

14

指導教員	前迫　孝憲	副指導教員			
氏名	秋長　幸依	研究分野名	教育工学	学年	MC　1　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	古典教育改善のための予備調査	秋長幸依・前迫孝憲	2008年10月11日	日本教育工学会第24回全国大会講演論文集 259－260	

15

指導教員	前迫　孝憲	副指導教員		(先端人間科学講座)	
氏名	中澤　明子	研究分野名	コミュニケーションメディア	学年	DC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	How Can We Apply HyperMirror to Distance Learning?	Akiko Nakazawa, Taiichiro Okubayashi, Spence Zaorski, Katsusuke Shigeta, Ako Imai, Yuko Yoshimoto, Hideya Matsukawa, Takanori Maesako	2008年8月5日	International Conference on Teaching and Learning with Technology2008, p.69	○
学会発表	Japan-US Water Investigation Project and its Relative Issues	Taiichiro Okubayashi, Akiko Nakazawa, Spence Zaorski, Katsusuke Shigeta, Takanori Maesako	2008年8月5日	International Conference on Teaching and Learning with Technology2008, p.69	○
学会発表	「21世紀の学び」の枠組み～米国・Partnership for 21st century skillsの活動より～	中澤明子・前迫孝憲	2008年9月5日	第33回教育システム情報学会全国大会講演論文集pp.500-501	
学会発表	教員を対象とする防災・危機対応研修プログラム—米国FEMAの取り組み—	奥林泰一郎・中澤明子・小久保力・上田明久・木村沙織・新川壮光・前迫孝憲	2008年9月5日	第33回教育システム情報学会全国大会講演論文集pp.502-503	
学会発表	ICTを活用した日本-タイ間の遠隔学習における特徴—多様な遠隔学習への「超鏡」の適用を目指して—	中澤明子・今井亜湖・吉本優子・奥林泰一郎・重田勝介・スペンス　ゼオースキ・前迫孝憲・藤倉純子・池田裕美・武藤志真子・森川治	2008年10月13日	日本教育工学会第24回全国大会講演論文集 pp.109-112	○
学会発表	非同期環境を中心とする交流学習におけるコミュニケーション支援の提案—Japan-USA Teen Talk Projectを事例として—	奥林泰一郎・中澤明子・スペンス　ゼオースキ・上田明久・新川壮光・前迫孝憲	2008年10月11日	日本教育工学会第24回全国大会講演論文集 pp.275-276	
学会発表	Use of Multiple Tools in Dstance Learning: International Distance Learning Using "HyperMirror"	Akiko Nakazawa, Taiichiro Okubayashi, Spence Zaorski, Katsusuke Shigeta, Hideya Matsukawa, Yuko Yoshimoto, Ako Imai , Takanori Maesako	2008年11月21日	APRU 9th Distance Learning and the Internet Conference 2008 pp.119-123	○
学術論文	異なる共同作業空間を用いた試み	中澤明子・奥林泰一郎・スペンス　ゼオースキ・前迫孝憲	2009年1月1日	教育システム情報学会誌, 25(3)pp.329-334	○

16

指導教員	前迫　孝憲	副指導教員	平沢　安政	(先端人間科学講座)	
氏名	Spence Zaorski	研究分野名	コミュニケーションメディア	学年	MC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	How Can We Apply HyperMirror to Distance Learning?	Akiko Nakazawa, Taiichiro Okubayashi, Spence Zaorski, Katsusuke Shigeta, Ako Imai, Yuko Yoshimoto, Hideya Matsukawa, Takanori Maesako	2008/8/1	International Conference on Teaching and Learning with Technology 2008, p. 69	○
学会発表	Japan-US Water Investigation Project and its Relative Issues	Taiichiro Okubayashi, Akiko Nakazawa, Spence Zaorski, Katsusuke Shigeta, Takanori Maesako	2008/8/1	International Conference on Teaching and Learning with Technology 2008, p. 69	○
学会発表	ICTを活用した日本-タイ間の遠隔学習における特徴ー多様な遠隔学習への「超鏡」の適用を目指してー	中澤明子・今井亜湖・吉本優子・奥林泰一郎・重田勝介・スペンス　ゼオースキ・前迫孝憲・藤倉純子・池田裕美・武藤志真子・森川治	2008年10月13日	日本教育工学会第24回全国大会講演論文集pp.109-112	○
学会発表	非同期環境を中心とする交流学習におけるコミュニケーション支援の提案ーJapan-USA Teen Talk Projectを事例としてー	奥林泰一郎・中澤明子・スペンス　ゼオースキ・上田明久・新川光・前迫孝憲	2008年10月11日	日本教育工学会第24回全国大会講演論文集pp275-276	
学会発表	Use of Multiple Tools in Distance Learning: International Distance Learning Using "HyperMirror"	Akiko Nakazawa, Taiichiro Okubayashi, Spence Zaorski, Katsusuke Shigeta, Hideya Matsukawa, Yuko Yoshimoto, Ako Imai, Takanori Maesako	2008年10月1日	APRU 9th Distance Learning and the Internet Conference 2008 pp.119-123	○
学術論文	異なる共同作業空間を用いた試み	中澤明子・奥林泰一郎・スペンス　ゼオースキ・前迫孝憲	2009年1月1日	教育システム情報学会誌, 25(3) pp.329-334	○

17

指導教員	老松　克博	副指導教員			
氏名	赤松　尚美	研究分野名	臨床心理学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	子ども時代の戦争体験に関する研究ー第2次世界大戦体験者への調査より(第一報)	森茂起・加藤寛・大塚紳一郎・赤松尚美	2008年4月20日	日本トラウマティック・ストレス学会第7回プログラム・抄録集72	

18

指導教員	老松　克博	副指導教員	井村　修		
氏名	金沢　晃	研究分野名	臨床心理学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
分担執筆	Japanese Person-Centered School Counselling-Case studies with school non-attendees and Japanese-Koreans-	Akira Kanazawa, Satoko Wakisaka	2008年6月1日	Micheal Behr and Jeffrey HD Cornelius White Eds 'Facilitating Young People's Development-international perspectives on person-centered theory and practice-' PCCS Books Pp140-151	
学会発表	学校臨床における反社会的な子どもと家族への介入モデル	金沢　晃	2008年9月1日	日本心理臨床学会第27回大会発表論文集 Pp55	

19

指導教員	老松　克博	副指導教員			
氏名	管生　聖子	研究分野名	臨床心理学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
分担執筆	中絶が女性に与える影響ー死と向き合うこと	管生　聖子	2008年11月1日	心の病と宗教性　-深い傾聴　鍋島直樹　海野マーク　岡田康伸　倉光修編 法蔵館 p204-217.	
学術論文	人工死産が女性に与える心理的影響	管生　聖子	2008年12月24日	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要14, p95-99.	
学会発表	人工死産による心理的反応に関する探索的研究	管生　聖子	2008年9月1日	日本心理臨床学会第27回大会論文集	

20

指導教員	老松　克博	副指導教員			
氏名	成田　慶一	研究分野名	臨床心理学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	Self in conflict: Recovery from non-fluent aphasia through sandplay therapy　— collaboration between subjective and objective image —	Kazuyuki Hirao, Harumi Naka, Keiichi Narita, Miyako Futamura, Jun Miyata, Shizuko Tanaka, Akiko Hayashi, Norifumi Kishimoto	2008年6月25日	9TH INTERNATIONAL NEUROPSYCHOANALYSIS CONGRESS	
学会発表	脳外科疾患に対する心理臨床　— 多職種・多施設コラボレーションのあり方について —	成田慶一	2008年9月5日	日本心理臨床学会第28回大会	
学会発表	脳梗塞を発症された60代男性の箱庭療法過程　ー脳血管疾患における箱庭療法の可能性についてー	中晴美・成田慶一・岸本寛史	2008年10月26日	日本箱庭療法学会第22回大会	

21

指導教員	老松　克博	副指導教員			
氏名	山本　典子	研究分野名	臨床心理学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	生体腎移植のドナーに関する臨床心理学的研究　ー描画を用いてー	山本典子・老松克博・山本嘉久子・小角幸人・市丸直嗣・児島康行・田畑勉・高原史郎	2008年9月21日	第44回日本移植学会総会	

22

指導教員	老松　克博	副指導教員			
氏名	東井　申雄	研究分野名	臨床心理学	学年	DC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	筋ジストロフィー患者に対する絵画療法の可能性に関して	東井申雄・井村修・藤村晴俊・松村剛・斉藤利雄・神野進	2008年12月1日	厚生労働省精神・神経疾患研究委託費筋ジストロフィーの集学的治療と均てん化に関する研究平成20年度班会議	

23

指導教員	老松　克博	副指導教員	井村　修		
氏名	松本　拓真	研究分野名	臨床心理学	学年	DC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
大学・研究所等報告	心理療法における抱っこと二重の皮膚という視点についての考察	松本　拓真	2008年12月24日	大阪大学大学院人間科学研究科　心理教育相談室紀要，14，103-109	

24

指導教員	老松　克博	副指導教員	宮田　敬一		
氏名	森　文彦	研究分野名	臨床心理学	学年	MC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
大学・研究所等報告	日本古典文学における和解の夢　ー「更級日記」と「とはずがたり」を例として	森　文彦	2008年12月24日	大阪大学大学院人間科学研究科　心理教育相談室紀要，14	

25

指導教員	井村　修	副指導教員	老松　克博		
氏名	村田　直子	研究分野名	臨床心理学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
紀要論文	友人がいないという主訴を持つ、女子高校生との面接過程　自己の時間的連続性を修復する試み	村田　直子	2008年12月24日	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要14号15-25	○
教育学年報	自己の時間的連続性に関する臨床心理学的考察	村田　直子	2008年3月31日	大阪大学大学院人間科学研究科教育学年報13号55-64	
学会発表	統合失調症者の内的時間性を理解する試み—軽症化の中のアンテ・フェストゥム	村田　直子	2008年9月5日	日本心理臨床学会第27回大会（基礎調査研究）	

26

指導教員	井村　修	副指導教員	老松　克博		
氏名	上條　史絵	研究分野名	臨床心理学	学年	DC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
事例論文	「人格的な問題」を主訴とした女性との面接過程	上條　史絵	2008年12月24日	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要、14、26-33	

27

指導教員	井村　修	副指導教員	宮田　敬一		
氏名	高田　紗英子	研究分野名	臨床心理学	学年	DC　1　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	「家庭的養護を受けた成人の自己受容プロセスに関する一考察—告知をめぐる相互作用と受容のプロセスから—」	高田　紗英子	2008年9月5日	日本心理臨床学会第27回大会	
学会発表	「病を語ることばとこころ—筋ジストロフィー患児へのアプローチ」	高田　紗英子	2008年9月5日	日本心理臨床学会第27回大会	
学会発表	「A Study about the Process of Self-Acceptance in Adopted Children」	Saeko takada	2008年9月8日	XVIIth ISPCAN（International Congress on Child Abuse and Neglect	
学会発表	「筋ジストロフィー患児への臨床心理学的アプローチ—周囲との関係構築プロセスに着目して」	高田　紗英子	2008年12月1日	厚生労働省科学研究費委託『筋ジストロフィーの集学的治療と均てん化に関する研究』平成20年度班会議（神野進班）	
学会発表	「家庭的養護における親子の絆の形成について—成人した養子と里子が語る「親子のつながり—」	高田　紗英子	2008年12月14日	日本子ども虐待防止学会　第14回学術集会ひろしま大会	
分担執筆	「筋ジストロフィー患者をもつ家族にとっての短期型サポートグループ体験の意義」	良原誠崇・高田紗英子・井村修	2009年3月	大阪大学大学院人間科学研究科紀要 35, 251-272	
大学・研究所等報告	「筋ジストロフィー患児への臨床心理学的アプローチ—周囲との関係構築プロセスに着目して」	高田紗英子・井村修・藤村晴俊	印刷中	厚生労働省科学研究費委託『筋ジストロフィーの集学的治療と均てん化に関する研究』平成20年度班会議（神野進班）報告書	

28

指導教員	宮田　敬一	副指導教員			
氏名	草野　智洋	研究分野名	臨床心理学	学年	DC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学術論文	大学生のひきこもりに関する研究の現状と展望	草野智洋・水田一郎	2008年6月	思春期青年期精神医学18(1)	○
大学・研究所等報告	自立と決断をテーマとした30代男性との面接過程	草野智洋	2008年12月24日	大阪大学大学院人間科学研究科　心理教育相談室紀要14	
行政報告書	大阪府ニートサポート事業「訪問型アウトリーチ調査報告書」	草野智洋	2008年3月	大阪府商工労働部雇用推進室	

29

指導教員	宮田　敬一	副指導教員	老松　克博		
氏名	谷口　由利子	研究分野名	臨床心理学	学年	DC　1年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	就労を模索するひきこもり当事者のライフストーリー　ー「回復／脱出」の意味を問い直す語りをとらえるー	谷口由利子	2008年7月31日	日本心理臨床学会第27回大会発表論文集, 394	
大学・研究所等報告	大学生に見出されるひきこもりの精神医学的な実態把握と援助に関する研究	水田一郎・小林哲郎・石谷真一・安住伸子・井出草平・谷口由利子	2009年3月	厚生労働科学研究費補助金（こころの健康科学研究事業）「思春期のひきこもりをもたらす精神科疾患の実態把握と精神医学的治療・援助システムの構築に関する研究」平成20年度総括・分担研究報告書（印刷中）	
大学・研究所等報告	小学校における相談室の活用について	谷口由利子	2009年3月	摂津市教育研究所研究紀要 第75号（印刷中）	

30

指導教員	宮田　敬一	副指導教員	井村　修		
氏名	中島　園美	研究分野名	臨床心理学	学年	DC　1　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
大学・研究所等報告	乳児の頃から施設入所している男児のプレイセラピー（2）	中島　園美	2008年12月24日	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要第14号2008	

31

指導教員	佐々木　淳	副指導教員	井村修、宮田敬一、老松克博		
氏名	岡田　紫甫	研究分野名	臨床心理学	学年	MC　1　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	乳がん患者における家族への否定的感情の開示に関する研究	岡田紫甫・塩崎麻里子・佐々木淳・米良明日香・和田奈緒子・乾浩己・平井啓	2008年10月10日	第21回日本サイコオンコロジー学会総会	

32

指導教員	佐々木　淳	副指導教員	井村　修		
氏名	和田　奈緒子	研究分野名	臨床心理学	学年	MC　1　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	A preliminary study of functional and dysfunctional coping behaviors for the depressive mood in Japanese breast cancer patients.	Naoko Wada, Naoshi Ito, Mariko Shiozaki, Jun Sasaki, Shiho Okada, Asuka Mera, Hiroki Inui, Kei Hirai	2008年8月28 日	10th International Congress of Behaviral Medicine Abstract Book 113-114	
学会発表	乳がん患者の抑うつ気分に対する機能的、非機能的な行動に関する探索的研究	和田奈緒子・伊藤直・塩崎麻里子・佐々木淳・米良明日香・岡田紫甫・乾浩己・平井啓	2008年10月10日	日本サイコオンコロジー学会総会抄録集 130	
学会発表	乳がん患者における家族への否定的感情の開示に関する研究	岡田紫甫・塩崎麻里子・佐々木淳・米良明日香・和田奈緒子・乾浩己・平井啓	2008年10月10日	日本サイコオンコロジー学会総会抄録集 129	
学会発表	不安と心配の識別は可能か？がん患者の心配評価尺度の作成	平井啓・塩崎麻里子・本岡寛子・伊藤直・和田奈緒子・吉崎亜里香	2008年11月3日	日本行動療法学会発表論文集　134－135	
学会発表	大学生を対象とした問題解決療法の指導マニュアルの検討	本岡寛子・平井啓・塩崎麻里子・伊藤直・和田奈緒子	2008年11月2日	日本行動療法学会発表論文集　144－145	

33

指導教員	中村　高康	副指導教員	近藤　博之		
氏名	小西　尚之	研究分野名	教育社会学	学年	DC　1　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
大学・研究所等報告	アメリカにおける「脱トラッキング（detracking）」についての研究動向 -1990年代後半以降の政策的論争と研究を中心に-	小西　尚之	2009年3月	大阪大学教育学年報No.14（印刷中）	

34

指導教員	平沢　安政	副指導教員	木村　涼子		
氏名	今井　貴代子	研究分野名	生涯教育学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
分担執筆	「いま・ここ」から描かれる未来	今井貴代子	2008年7月25日	志水宏吉編　高校を生きるニューカマー、明石書店Pp. 182-197.	
分担執筆	春日丘定時制課程――一人ひとりの「学校に通う意義」をささえる	今井貴代子・大坪義男	2008年7月25日	志水宏吉編　高校を生きるニューカマー、明石書店Pp.305-319.	
分担執筆	学校の中の「見えない/見える」セクシュアルマイノリティ	今井貴代子・山田公二	2008年12月1日	木村涼子・古久保さくら編　ジェンダーで考える教育の現在、部落解放・人権研究所 Pp.111-129	
学会発表	在日外国人教育を行う側の「論理」、経験する子ども側の「事情」	今井貴代子	2008年9月6日	第24回日本解放社会学会大会.	

＜その他：新聞記事など＞

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2009.1	堀内真由美、今井貴代子、松波めぐみ、土田陽子、日野玲子、古久保さくら、木村涼子	座談会　フェミニズム教育学をめざして	月刊『Human Rights』No. 250　Pp.20-31.

35

指導教員	平沢　安政	副指導教員	木村　涼子		
氏名	木村　和美	研究分野名	生涯教育学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学術論文	マイノリティによるネットワーク形成と社会関係資本－被差別部落A地区における保護者組織を事例に－	木村　和美	2008年12月15日	教育社会学研究, 83, 65-83.	○
大学・研究所等報告	「当事者」がみた教育保護者組織の役割	木村　和美	2008年7月1日	部落解放研究, 182, 26-39.	

36

指導教員	志水　宏吉	副指導教員	山田　哲也		
氏名	榎井　縁	研究分野名	教育文化学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
分担執筆	「市民の参加から生みだされる新たな地域づくり—豊中市の子育て中の女性の取り組みから」	榎井　縁	2008年5月7日	西山優二・上條直美・近藤牧子編『地域から描くこれからの開発教育』、新評論、pp.234-243	
分担執筆	「民族的自覚をもって生きる力を育てるとりくみ」「民族教育権の確立と進路保障のとりくみを通して」「総括討論」	榎井　縁	2008年8月1日	『日本の教育　第57集』、アドバンテージサーバー、pp. 206-212	
分担執筆	「母語が日本語でない子どもの」指導	榎井　縁	2009年1月10日	小田豊・芦田宏編　新保育ライブラリ　保育の内容・方法を知る『保育内容　言葉』、北大路書房、pp. 123-129	
学術論文	共生のトポス(73)ニートのつぶやき…鈴木さん	榎井　縁	2008年4月1日	解放教育研究所編　『解放教育』38(4)(通号485号)、明治図書出版、pp. 80-84	
学術論文	共生のトポス(74)狭間で生きる子ども…ラウラの場合	榎井　縁	2008年5月1日	解放教育研究所編　『解放教育』38(5)(通号486号)、明治図書出版、pp. 87-92	
学術論文	共生のトポス(75)子どもと一緒に成長していく…在日ブラジル人ミリアンさん	榎井　縁	2008年6月1日	解放教育研究所編　『解放教育』38(6)(通号487号)、明治図書出版、pp. 65-70	
学術論文	共生のトポス(76)チベット難民の子どもたち	榎井　縁	2008年7月1日	解放教育研究所編　『解放教育』38(7)(通号488号)、明治図書出版、pp. 83-87	
学術論文	共生のトポス(77)ラベルフリーにあゆむ…「おちこぼれ」でもなく「ヒーロー」でもなく	榎井　縁	2008年8月1日	解放教育研究所編　『解放教育』38(8)(通号489号)、明治図書出版、pp. 110-117	
学術論文	共生のトポス(78)慎穂(シンス)三世…「在日」を受けとるということ	榎井　縁	2008年9月1日	解放教育研究所編　『解放教育』38(9)(通号490号)、明治図書出版、pp. 110-117	
学術論文	共生のトポス(79)フィリピン人母とダブルの子の二年の物語	榎井　縁	2008年10月1日	解放教育研究所編　『解放教育』38(10)(通号491号)、明治図書出版、pp. 97-106	
学術論文	共生のトポス(80)外国人の先生	榎井　縁	2008年11月2日	解放教育研究所編　『解放教育』38(11)(通号492号)、明治図書出版、pp. 65-70	
学術論文	「多文化教育のいま」を考えるにあたって(特集　多文化教育のいま)	榎井　縁	2008年12月1日	解放教育研究所編　『解放教育』38(12)(通号493号)、明治図書出版、pp. 7-23	
学術論文	共生のトポス(81)宇蘭(ウラン)…KIS(コリア国際学園)一期生	榎井　縁	2008年12月1日	解放教育研究所編　『解放教育』38(12)(通号493号)、明治図書出版、pp. 67-71	
学術論文	共生のトポス(82)小学校「外国語活動」が地域をかえる(前編)	榎井　縁	2009年1月1日	解放教育研究所編　『解放教育』39(1)(通号494号)、明治図書出版、pp. 91-96	
学術論文	共生のトポス(83)小学校「外国語活動」が地域をかえる(後編)出会いとエンパワメント	榎井　縁	2009年2月1日	解放教育研究所編　『解放教育』39(2)(通号495号)、明治図書出版、pp. 111-117	
学術論文	共生のトポス(84)薛萌(シュエモン)…日本で刻まれた11年の記憶	榎井　縁	2009年3月1日	解放教育研究所編　『解放教育』39(3)(通号496号)、明治図書出版、pp. 107-117	
学会発表	多文化教育における教育実践者の言説に関する一考察	榎井　縁	2008年9月22日	日本教育社会学会第60回大会発表要旨集録77－78	

＜その他：新聞記事など＞

年月	**氏名**	**内容**	**掲載紙誌名**
2009.1.15	榎井　縁	地域における「国際交流協会」の役割	全国市町村国際文化研修所発行『国際文化研究』

37

指導教員	志水　宏吉	副指導教員	山田　哲也		
氏名	新矢　麻紀子	研究分野名	教育文化学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学術論文	府立高校における日本語教育支援	新矢　麻紀子	2008年5月1日	志水宏吉編著『高校を生きるニューカマー－大阪府立高校にみる教育支援－』, pp.103-116.	○
学術論文	千里高校－外国人支援の伝統に根ざした新たな挑戦－	新矢　麻紀子	2008年5月1日	志水宏吉編著『高校を生きるニューカマー－大阪府立高校にみる教育支援－』, pp.276-289.	
学術論文	地域日本語教育支援におけるコーディネータの役割に関する一考察－2種類のコーディネータの事例分析から－	新矢　麻紀子	2009年3月31日	『大阪大学教育学年報』第14号, 大阪大学人間科学研究科教育学系(印刷中)	
学会発表（パネルディスカッション）	定住「外国人」に対する言語政策	新矢　麻紀子・山田泉・窪誠・岩槻知也・佐藤潤一	2008年5月25日	日本語教育学会2008年度春季大会(首都大学東京)	
大学・研究所等報告	グローバル化とニューカマーに対する言語教育支援－大阪府立高校における調査から－	新矢　麻紀子	2009年3月19日	大阪産業大学『産研叢書』31号, pp.37-52.(印刷中)	
大学・研究所等報告	とよた日本語学習支援システム	新矢　麻紀子	2009年3月31日	日本語教育学会編『外国人に対する実践的な日本語教育の研究開発』(文化庁委嘱事業), 日本語教育学会(校正中)	
大学・研究所等報告	社会教育、エンパワメントの視点から(仮題)	新矢　麻紀子	2009年3月31日	日本語教育学会編『外国人に対する実践的な日本語教育の研究開発』(文化庁委嘱事業), 日本語教育学会(校正中)	
報告書	ニューカマーに対する日本語教育保障法案の創出をめぐる言語教育学・公法学的研究	新矢　麻紀子・山田泉・春原憲一郎・窪誠・大谷晋也・岩槻知也・佐藤潤一	2009年3月31日	平成19－20年度科学研究費補助金(萌芽研究)研究成果報告書(印刷中)	
小冊子	日本語教育保障法案(仮題)	新矢　麻紀子・山田泉・春原憲一郎・窪誠・大谷晋也・岩槻知也・佐藤潤一	2009年3月31日	平成19－20年度科学研究費補助金(萌芽研究)による研究成果の一部(校正中)	

38

指導教員	志水　宏吉	副指導教員			
氏名	棚田　洋平	研究分野名	教育文化学	学年	DC　3　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学術論文	フィールドワークにおける「私」的経験	棚田洋平	2008年4月1日	教育文化学年報　第3号、pp.52-61.	
報告書	V中－「荒れ」の記憶の継承と発展	棚田洋平・新保真紀子	2008年4月1日	「力のある学校」の探求　大阪府・確かな学校力調査研究事業（平成19年度）から、pp.123-	
学術論文	格差を克服する学校の力－「効果のある中学校」を事例として－	棚田洋平・新保真紀子	2008年7月15日	神戸親和女子大学教育研究センター紀要第4号、pp.7-16.	
編著	「ちがい」からみえてくるもの	棚田洋平	2008年7月25日	志水宏吉編著 『高校を生きるニューカマー－大阪府立高校にみる教育支援』明石書店、pp.140-152.	
編著	長吉高校－ちがいとちがいをつなぐ教育実践	棚田洋平	2008年7月25日	志水宏吉編著 『高校を生きるニューカマー－大阪府立高校にみる教育支援』明石書店、pp.216-234.	
学会発表	「効果のある学校」から「力のある学校」へ－階層間格差を超える学校改善モデルの構築－	志水宏吉・芝山明義・高田一宏・葛上秀文・棚田洋平・伊佐夏実・盛満弥生・前馬優策	2008年9月20日	日本教育社会学会第60回大会発表要旨集録、pp.129-134.	
学会発表	マイノリティ生徒の「語り」にみる日本の学校文化－ニューカマー高校生を事例として－	棚田洋平	2008年9月20日	日本教育社会学会第60回大会発表要旨集録、pp.264-265.	
学術論文	ニューカマー生徒の語りにみる「日本の学校」	棚田洋平	2009年3月末日(予定)	大阪大学教育学年報　第14号（印刷中）	
編著	「荒れ」の記憶の継承と発展－V中学校	棚田洋平	2009年3月末日(予定)	『力のある学校の探求（仮）』大阪大学出版会（印刷中）	

39

指導教員	志水　宏吉	副指導教員	山田　哲也		
氏名	前馬　優策	研究分野名	教育文化学	学年	DC　1　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
報告書	A小 つながりこそ財産	前馬優策・若槻健	2008年4月	「力のある学校」の探求　「力のある学校」研究会　pp.74-83	
学会発表	『効果のある学校』から『力のある学校』へ―階層間格差を超える学校改善モデルの構築」、	志水宏吉・芝山明義・高田一宏・葛上秀文・棚田洋平・伊佐夏実・盛満弥生・前馬優策	2008年9月20日	日本教育社会学会第60回大会発表要旨集録 pp129-134	
学会発表	子どもの言語運用における階層間格差	前馬優策	2008年9月20日	日本教育社会学会第60回大会発表要旨集録 pp.357-358	
報告書	家庭生活と学力の関連	前馬優策	2008年11月	平成20年度　尼崎市立小・中学校　学力・生活実態調査報告　pp.72-87	

40	指導教員	志水　宏吉	副指導教員	山田　哲也		
	氏名	西川　陽子	研究分野名	教育文化学	学年	MC　3　年次
	論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
	学会発表	教師―子どもの相互交渉による教室秩序の生成―「管理」・「共感」的指導を通して― ―「管理」・「共感」的指導を通して―	西川　陽子	2008年9月14日	日本教師教育学会第18回研究大会	

	在籍者	回答者	研究成果	成果有の人数(%)
グローバル人間学系	52名	24名	有 13名	54%
	回答者率	46%	無 11名	

1

指導教員	中村 安秀	副指導教員	内海 成治		
氏名	荒木 京子	研究分野名	国際協力論	学年	DC 3 年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
分担執筆	社会福祉士シリーズ17 保健医療サービス	荒木京子・橋本由利子	2009年3月予定	弘文堂 第3章 診療報酬制度の概要と課題	
分担執筆	社会福祉士シリーズ17 保健医療サービス	荒木京子	2009年3月予定	弘文堂 第6章 薬剤師の役割と医薬分業	
学会発表	マラウイ国における医薬品スタッフに対するPre-service trainingとIn-service trainingに対する実態調査	荒木京子・カルビン デロスレイエス・中村安秀	2008年10月25日	第23回日本国際保健医療学会	○
学会発表	マラウイにおける保健スタッフのボランティア緊急派遣	荒木京子	2009年3月7日	第6国際ボランティア学会	○
大学・研究所等報告	東アフリカにおける保健分野のコンフリクトに関する研究ーマラウイの事例から	荒木京子	2009年2月12日	GCOE研究助成研究報告会	
大学・研究所等報告	アフリカ農村の生活向上ー健康とワクチン接種ー	荒木京子	2008年6月27日	社会開発研究所報告会	

2

指導教員	中村 安秀	副指導教員	内海 成治		
氏名	Calvin de los Reyes	研究分野名	国際協力論	学年	DC 3 年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	地方の母子健康ハンドブック ーフィリピンにおける乳幼児・妊産婦死亡率を削減するストラテジーとしてー	Calvin de los Reyes、中村安秀	2008年10月25日	第23回日本国際保健医療学会	○
学会発表	フィリピンの食料品におけるエルシニア属の同定	Calvin de los Reyes and Bungay	2008年10月25日	第23回日本国際保健医療学会	○
学会発表	フィリピンの食料品におけるエルシニア属の同定	Calvin de los Reyes and Bungay	2008年10月25日	第23回日本国際保健医療学会	○
学会発表	マラウイ国における医薬品スタッフに対するPre-service trainingとIn-service training の実態調査	荒木京子、Calvin de los Reyes、中村安秀	2008年10月25日	第23回日本国際保健医療学会	○
学会発表	Maternal and Child Health Handbook in the Philippines	Calvin de los Reyes and Crisostomo	2008年11月8日	The 6th International Conference on Maternal and Child Health Handbook	○
学会発表	Maternal and Child Health Handbook Development in Viet Nam:From Ben Tre to the Rest of the Nation	Calvin delos Reyes、板東あけみ	2008年11月15日	4th Vietnamese-Japanese Students Scientific Exchange Conference	○
学会発表	Supporters's views on the Language and Cultural Exchange Program in Toyonaka City, Osaka	Calvin delos Reyes、Enoi	2009年3月7日	10th Human Volunteer Conference	○
論文分類	Ensuring Healthier Mothers and Children in Japan and across the Asian Continent: The Maternal and Child Health Handbook Program	Calvin de los Reyes、中村安秀	2008年12月1日	Journal of Asian Women's Studies, Volume 17	○

＜受賞＞

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2008.9	Calvin de los Reyes	San Jose del Monte City Model Youth for Academics	San Jose del Monte City Government (Province of Bulacan)

3

指導教員	中村 安秀	副指導教員	内海 政治		
氏名	ピヤタムロンチャイ チャリダー	研究分野名	国際協力論	学年	DC 3 年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
大学・研究所等の報告	タイにおける外国人児童の教育保障の動向	ピヤタムロンチャイ チャリダー	2008年6月21日	第9回 国際教育発展・協力研究会	
大学・研究所等の報告	タイにおける外国人児童の教育支援ーサムットサコン県の事例からー	ピヤタムロンチャイ チャリダー	2008年7月18日	第25回アジア教育研究会	
大学・研究所等の報告	Provision of Education for Children of Migrant Workers in Thailand – the Conflicts and Collaboration between Local NGOs and Community	ピヤタムロンチャイ チャリダー	2009年2月12日	大阪大学グローバルCOEプログラム「コンフリクトの人文学国際研究教育拠点」大学院生調査研究助成（平成20年度）成果報告会	
学会発表	Interinstitutional Collaboration in Supporting Migrant Children Access to Education	ピヤタムロンチャイ チャリダー	2009年3月9-11日	International Technology, Education, and Development Conference (INTED 2009)	○

4

指導教員	中村　安秀	副指導教員			
氏名	フランシスコ・アルファロ	研究分野名	国際協力論	学年	DC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
大学・研究所等の報告	Integration of Latin American immigrants to the local system of education in Japan	フランシスコ・アルファロ	2009年3月20日	上智大学・日系スタディーズ	
大学・研究所等の報告	Integration of Latin American immigrants to the local system of education in Japan	フランシスコ・アルファロ	2009年2月12日	大阪大学グローバルCOEプログラム コンフリクトの人文学	

5

指導教員	中村　安秀	副指導教員			
氏名	水元　芳	研究分野名	国際協力論	学年	DC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	Nutrition Improvement Activities at Primary Schools in Gauteng Province, South Africa	Kaori Mizumoto, Patricia Banda	2008年9月11日	第15回国際栄養士会議	○

＜その他：新聞記事など＞

年月	**氏名**	**内容**	**掲載紙誌名**
2008.9.11	水元　芳	モザイク・アフリカ： 南アフリカの学校給食と子どもたちの栄養状況	朝日新聞webニュース

6

指導教員	中村安秀	副指導教員			
氏名	李　錦純	研究分野名	国際協力論	学年	DC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
分担執筆	「移民国家日本」と多文化共生論－多文化都市・新宿の深層－	川村千鶴子・李錦純他	2008年5月17日	川村千鶴子編　第9章共に老後を支え合う-在日外国人高齢者の現状と課題，明石書店，　pp.263-285.	
学会発表	在日外国人と日本人の人口動態統計に関する比較研究-「日本」、「韓国・朝鮮」、「ブラジル」に焦点をあてて-	李　錦純・李　節子・中村安秀	2008年9月20日	国際看護研究会第11回学術集会抄録集，pp.34.	○
学会発表	在日コリアンの人口動態統計に関する研究－老年人口に焦点を当てて－	李　錦純・李　節子・中村安秀	2008年10月25日	第23回日本国際保健医療学会学術集会抄録集，pp.174.	○
学会発表	The difficulties at public long-term care insurance service utilization and the present situation of care support for elderly Koreans in Japan	李　錦純・李　節子・	2008月12月3日	The 6th International Conference, Evidence-based Advanced NursingPractice: Research&Practice, Korea university, pp.120-121.	
学術論文	在日外国人と日本人の人口動態統計に関する比較研究-「日本」、「韓国・朝鮮」、「ブラジル」に焦点をあてて-	李　錦純	2009年3月下旬	グローバル人間学紀要（印刷中）	○

7

指導教員	中村　安秀	副指導教員	津田　守		
氏名	竹迫　和美	研究分野名	国際協力論	学年	DC　1年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行/発表年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	日本における専門医療通訳養成に関する現状と展望	竹迫和美	2008年9月14日	日本通訳学会第9回大会.	○
学会発表	Trans-Disciplinary & Diversified Efforts to Ensure Language Access to All Across Japan	Kazumi Takesako	2008年10月11日	IMIA (International Medical Interpreters Association) Annual Conference 2008	○

8

指導教員	中村　安秀	副指導教員	草郷　孝好・内海　成治		
氏名	中川　真帆	研究分野名	国際協力論	学年	MC　2　年次
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
研究会発表	ケニア・ラムにおける教育と開発—キプンガニの就学前クラスを中心として—	中川　真帆	2008年10月25日	第三世界の教育研究会10月例会/国際教育発展・協力研究会	

9	指導教員	中村　安秀	副指導教員	内海　成治		
	氏名	濱口　陽子	研究分野名	国際協力論	学年	MC　2　年次
	論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
	学会発表	メキシコ合衆国モレーロス州における伝統的産婆の現状	濱口　陽子	2008年9月20日	第11回国際看護研究会学術集会	

10	指導教員	中村　安秀	副指導教員			
	氏名	大安　喜一	研究分野名	国際協力論	学年	MC　1　年次
	論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
	分担執筆	ユネスコ主催CLC国際セミナー報告	手打明敏・大安喜一	2008年11月30日	日本公民館学会年報第5号, 74-76	

11	指導教員	藤目　ゆき	副指導教員	千葉　泉		
	氏名	塩出　綾	研究分野名	多文化共生社会論	学年	MC　1　年次
	論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	審査有無
	研究ノート	コスタリカにおけるニカラグア移民—コーヒー農園での女性労働者を中心に—	塩出　綾	印刷中	『グローバル人間学紀要』	

12	指導教員	宮原　暁	副指導教員	中村　安秀		
	氏名	尾上　智子	研究分野名	超域地域論	学年	DC　1　年次
	論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
	学会発表	社会的コンテクストにおける治療戦略～フィリピン・カリンガ州の事例から～	尾上　智子	2008年7月5日	第13回フィリピン研究会全国フォーラム抄録集	
	学術論文	フィリピン・カリンガ州における病因論に関する一考察	尾上　智子	2009年3月(予定)	大阪大学人間科学研究科グローバル人間学紀要(印刷中)	○

13	指導教員	宮原　暁	副指導教員	山本 Beverley Anne		
	氏名	Balgoa Nelia Gayosa	研究分野名	超域地域論	学年	DC　1　年次
	論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
	学会発表	Gender and Media: A Semiotic Analysis of Advertisments in Filipino Magazines in Japan	Nelia Balgoa	2008年7月5日	The 13th Philippine Studies Forum of Japan	
	学会発表	The Concept of "Komunidad": The Shifting and Negotiating of Identity of Filipino Migrants in	Nelia Balgoa	2009年1月30日	Asia Pacific Week 2009, Australian National University	
	学会発表	Religion as a Tool for the Shifting and Negotiating of Identity of Filipino Migrants in Japan	Nelia Balgoa	2008年12月13日	Seminar on Area Studies, Graduate School of Human Sciences, Osaka University	

2008年度　SPD・PDの研究活動記録

1 受入研究者　大坊　郁夫

氏名	五十嵐　祐	研究分野名	対人社会心理学		SPD
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学術論文	No mobile, no life: Self-perception and text-message dependency among Japanese high school students.	Igarashi, T., Motoyoshi, T., Takai, J., & Yoshida, T.	2008年9月	Computers in Human Behavior, 24, 2311-2324.	○
学術論文	人と人とのつながりが規定するコミュニケーション－ネットワークの対人心理学	五十嵐祐	2008年8月	繊維製品消費科学, 49, 18-28.	
著書（分担執筆）	CMCと対人関係	五十嵐祐	2009年2月	三浦麻子・森尾博昭・川浦康至（編著）インターネット心理学のフロンティア, 第5章, Pp. 117-148. 誠信書房	
著書（分担執筆）	くらしと社会的なつながり	五十嵐祐	2009年3月	金政祐司・大竹恵子（編著）健康とくらしに役立つ心理学, 第12章, 北樹出版	
学会発表	関係葛藤の低減に及ぼす初期態度としての一般的信頼、規範意識の影響	五十嵐祐・小川一美・斎藤和志	2008年6月	日本グループ・ダイナミックス学会第55回大会発表論文集, 58-59.	
学会発表	社会的交換ネットワークのミクロ構造と資源の利益効率性：力学系モデルとシミュレーションによる分析	清水裕士・五十嵐祐	2008年6月	日本グループ・ダイナミックス学会第55回大会発表論文集, 60-61.	
学会発表	Trust does matter in social networks: A longitudinal study	五十嵐祐	2008年7月	Paper presented at the 29th International Congress of Psychology	○
学会発表	グループワークにおける集団内信頼の縦断的変化－初期態度としての規範意識と一般的信頼の影響－	五十嵐祐	2008年9月	日本心理学会第72回大会発表論文集, 153.	
学会発表	グループワークにおける集団内信頼の醸成プロセス：集団アイデンティティ、一般的信頼との関連から	五十嵐祐	2008年11月	日本社会心理学会第49回大会発表論文集, 12-13.	
学会発表	インターネット心理学のフロンティア：デジタル化で変貌する個人・人間関係・社会	森尾博昭・三浦麻子・川浦康至・高比良美詠子・五十嵐祐・折田明子・小林哲郎・柴内康文・川上善郎	2008年11月	日本社会心理学会第49回大会発表論文集, 18.	
学会発表	Trust and social networks in the East and the West	Igarashi, T., Kashima, Y., Kashima, E. S., Farsides, T., Kim, U., Strack, F., Werth, L., & Yuki, M.	2009年2月	Poster presented at the ninth annual meeting of the Society for Personality and Social Psychology, Tampa, FL	○
学会発表	Network centralization and perception of relationship conflict in groups: A longitudinal study	Igarashi, T.	2009年3月	Paper presented at the 29th International Sunbelt Social Network Conference	○

2 受入研究者　三浦　利章

氏名	内藤　宏	研究分野名	適応認知行動学		PD
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	Representational momentum for an approaching object in real 3-D space	Kimura, T., Miura, T., Naito, H., & Shinohara, K	2008年7月18日	Asia-Pacific Conference on Vision	
学会発表	Effects of action on asymmetries of attentional allocation across vertical visual field	Naito, H., Kimura, T., & Miura, T.	2008年8月26日	Perception, 37 supplement, 54. (31st European Conference on Visual Perception)	
学会発表	行為実行時の垂直方向における注意配分－手がかり法による検討－	内藤宏・木村貴彦・三浦利章	2008年9月19日	日本心理学会第72回大会 発表論文集p.604	
学会発表	三次元空間における動作実行時の注意配分	内藤宏・木村貴彦・三浦利章	2008年11月9日	関西心理学会第120回大会　発表論文集 p.43	
研究会	実空間における行為実行時の注意配分	内藤宏・木村貴彦・三浦利章	2009年3月8日	Technical Report on Attention and Cognition (2009) No.6	

3 受入研究者 大坊　郁夫

氏名	上出　寛子	研究分野名	対人社会心理学		PD
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学術論文	対人的な文脈における自己の多様性と精神的健康の関連	上出寛子・大坊郁夫	印刷中	パーソナリティ研究	○
学術論文	非言語的コミュニケーションによる対人関係の解読－社会的スキル・パーソナリティの関連から －	上出寛子・大坊郁夫・谷口淳一・磯友輝子	2008年5月12日	電子情報通信学会技術研究報告・	
学会発表	Development of a Japanese version of the BIS/BAS scale.	Hiroko KAMIDE & Ikuo DAIBO	2008年7月23日	Poster Presentation Presented at the XXIX International Congress of Psychology	○
学会発表	Functions of Verbal-Nonverbal Communication in Social Skills Training.	Ikuo DAIBO, Yukiko ISO, Junichi TANIGUCHI, & Hiroko KAMIDE	2008年7月22日	Poster Presentation Presented at the XXIX International Congress of Psychology	○
学会発表	Japanese adults' narrative stories and eudaimonic and hedonic well-being.	Hiroko KAMIDE & Ikuo DAIBO	2008年7月2日	Poster Presentation Presented at the 4th European Conference of Positive Psychology	○
学会発表	価値の社会心理学（企画・話題提供）	上出寛子・清水裕士・外山みどり・浦光博	2008年6月15日	日本グループ・ダイナミクス学会第55回大会発表論文集	
学会発表	年長者の自伝的物語とwell-being の関連	上出寛子・大坊郁夫	2008年11月2日	日本社会心理学会第49回大会発表論文集	

4 受入研究者 大坊　郁夫

氏名	清水　裕士	研究分野名	対人社会心理学		PD
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学術論文	対人行動の適切性判断と社会規範—「社会関係の論理学」の構築—	清水裕士・小杉考司	印刷中	実験社会心理学研究(印刷中)	○
学術論文	家族システムの構造分析 —家族成員間関係と家族全体システムの機能との関連性について—	石盛真徳・藤澤隆史・小杉考司・清水裕士・渡邊太・藤澤等	2008年9月	バイオメディカル・ファジィ・システム学会誌, 10, 159-168.	○
紀要	大学生のジェンダー特性語認知の経年変化 —テキストマイニングによる連想反応の探索的分析から—	湯川隆子・清水裕士・廣岡秀一	2008年4月	奈良大学紀要, 36, 131-150.	
学会発表	The effect of intentionality on evaluation of investment actions in friendships.	Shimizu, H. & Daibo, I.	2009年2月	The 10th annual meeting of the Society for Personality and Social Psychology, Tampa, FL.	
学会発表	非対称MDSを用いた楽曲のコード進行の分析	藤澤隆史・小杉考司・清水裕士	2008年9月	日本行動計量学会第36回大会発表論文集, 273-274.	
学会発表	ペア・縦断データを用いた友人関係の形成に関する研究(1) ～自己呈示が友人からの評価及び関係満足感に及ぼす影響～	谷口淳一・清水裕士	2008年11月	日本社会心理学会第49回大会発表論文集, 162-163.	
学会発表	ペア・縦断データを用いた友人関係の形成に関する研究(2) ～マルチレベル・時系列分析による、ペアレベルの葛藤解決方略の検討～	清水裕士・谷口淳一	2008年11月	日本社会心理学会第49回大会発表論文集, 164-165.	
学会発表	性格特性語に対する連想反応の経年変化 —テキストマイニングによる分析—	湯川隆子・清水裕士	2008年11月	日本社会心理学会第49回大会発表論文集, 268-269.	
学会発表	社会的交換ネットワークのミクロ構造と資源の利益効率性 力学系モデルとシミュレーションによる分析	清水裕士・五十嵐祐	2008年6月	日本グループダイナミックス学会第55回大会発表論文集, 60-61.	
学会発表	三人ゲームの理論的考察(2) —パレート解としての葛藤解決方略—	小杉考司・清水裕士	2008年6月	日本グループダイナミックス学会第55回大会発表論文集, 126-127.	

5 受入研究者 日野林　俊彦

氏名	岸本　健	研究分野名	比較発達心理学		PD
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学会発表	How do caregivers respond to infants' pointing gestures?	岸本　健・志澤康弘・安田　純・日野林俊彦・南 徹弘	2008年7月15日	The 20th Biennial Meeting of the International Society for the Study of Behavioral Development (on CD-rom)	
学会発表	Gaze following among toddlers.	岸本　健・志澤康弘・安田　純・日野林俊彦・南 徹弘	2008年7月23日	The 29th International Congress of Psychology（発表論文集pp. 499）	○
学会発表	幼児による他児の注意を誘導する行動の発達	岸本　健・志澤康弘・安田　純・日野林俊彦・南 徹弘	2008年9月19日	日本心理学会第72回大会(発表論文集pp.1124)	○
学会発表	1歳齢児の指さしに対する言語的応答の内容は、指さし後の幼児の行動に影響するか？	岸本　健	2008年11月15日	第18回日本乳幼児医学・心理学会（発表論文集pp. 23）	
学会発表	1歳齢保育園児の指さし行動に及ぼす保育士との近接の影響	岸本　健・安田　純・日野林俊彦・南 徹弘	2009年3月24日	日本発達心理学会第20回大会（発表論文集掲載ページ未定）	
学会発表（話題提供）	保育園における1歳齢児の指さしと保育士による言語的な関わりかけ	岸本　健	2009年3月23日	日本発達心理学会第20回大会　自主シンポジウム「保育園児の行動観察―発達研究におけるその有効性を考える（発表論文集 掲載ページ未定）	
大学・研究所等報告	1歳齢保育園児の指さし行動に及ぼす保育士との近接の影響	岸本　健・日野林俊彦	2009年3月	大阪大学大学院人間科学研究科紀要 第35号（印刷中）	

6 受入研究者 春日　直樹

氏名	深田　淳太郎	研究分野名	人類学		PD
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
学術論文	つながる実践と区切り出される意味：パプアニューギニア、トーライ社会の葬式における貝貨の使い方	深田　淳太郎	2009年3月31日	「文化人類学」第73巻4号pp.	
学会発表	交換レートのreality/realize：パプアニューギニア、トーライ社会において価値秩序を実／演する方法	深田　淳太郎	2008年5月31日	日本文化人類学会第42回研究大会	
学会発表	使えない貨幣と人の死：トーライ社会における貝貨の一形態"ロロイ"をめぐって	深田　淳太郎	2009年1月31日	日本オセアニア学会関西地区例会	
研究会報告	つながる実践と区切り出される意味：パプアニューギニア、トーライ社会の葬式における貝貨の使い方	深田　淳太郎	2009年2月7日	大阪大学GCOEプログラム 「コンフリクト」を理解する理論的・方法論的な研究：人類学を中心として（春日班）第七回研究会	

7 受入研究者 藤川　信夫

氏名	藤田　雄飛	研究分野名	教育人間学		PD
論文分類	**論文題目／書名**	**著者名**	**発行年月**	**論文の掲載誌名**	**審査有無**
分担執筆	制度化について	藤田　雄飛	2009年1月24日	『教育人間学の展開』	
大学・研究所等報告	教育学とフェティシズム	藤田　雄飛	2009年（現在印刷中）	大阪大学教育学年報大４号p３－１３	
学会発表	De l' institution par Merleau-Ponty	藤田　雄飛	2008年5月13日	La séance du secteur ≪ crise, école, terrains sensibles ≫	